

貴族議會第七十六回 治安維持法改正法律案特別委員會議事速記錄第二號

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今
カラ委員會ヲ開キマス、昨日ニ引續イテ御
質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス
○次田大三郎君 私治安維持法ノ改正ノ機
會ニ於テ政體ヲ變革セムトスルモノヲ取締
ル規定ヲ御加ヘニナラナカツタ理由ヲ伺ヒ
タイト思フノデアリマス、是ハ私申上ゲル
迄モナク政府ハ能ク御承知デアラウト思ヒ
マスガ、昭和九年第六十五議會ニ提出セラ
レマシテ、ソレニ對シテ貴族院ハ修正ヲ加ヘ
タノデアリマス、ソレハ治安維持法ニ關ス
ル立法經過參考資料トシテ、政府カラ提出
ニナシテ居リマス、其ノ「パンフレット」ノ
第十二頁ニ載シテ居リマス、第八條原案ハ「私
有財產ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ
組織シタル者結社ニ加入シタル者又ハ結社
ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ハ
十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス」ト云フ規定
デアタガノデアリマス、ソレニ對シテ修正ヲ
加ヘマシテ「私有財產制度ヲ否認シ又ハ憲法
ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スル
コトヲ目的トシ」又ハ憲法ノ定ムル統治組
織ノ機能ヲ不法ニ變壞スル者ニ對シテハ、
私有財產制度ヲ否認スル者ト同ジヤウナ取
締ヲシヨウト云フ趣旨ノ修正ヲ貴族院デ出
シタノデアリマス、ソレガ直ニ衆議院ノ
同意ヲ得ルコトガ出來マセヌデ、兩院協議
會ヲ開イテ居ル中ニ、會期ガ盡キマシテ未
了トナシタコトガアルノデゴザイマス、デ國

體ヲ彼此スルコトノ不都合ナコトハ無論デ
アリマスガ、其ノ外ニ尙政體ヲ變壞セント
スル考ヘデ以テ、色々ナ事ヲスル者へ取締ル
ベキモノデアルト云フ意見ハ、貴族院ノ意
見トシテハ一應成立シテ居ルノデアリマス、
此ノ貴族院ノ意見ヲ、今度治安維持法ノ改
正ヲナサル際ニ、政府ハ如何ニ商量セラ
レタカ、何ガ故ニ政體變壞ニ關スル制裁
規定ヲ此ノ治安維持法改正ノ際ニ挿入ニ
ナリマセヌデシタカ、其ノ理由ヲ伺ヒタ
イ

政府ヨリ改正案ガ提出サレタノデアリマス
ガ、其ノ都度政體ノ問題ニ關シマシテハ、
第五十議會ニ表明サレマシタ議會ノ意思ヲ
尊重シマシテ、此ノ點ニ改正ヲ加ヘナイコ
トニナツテ居ル次第デアリマス、只今仰セニ
ナリマシタ政體變革ト云ヒ、憲法ノ内容ニ
關シテ紛淆若ハ變革ヲ企ツル所ノ言動ハ、
之ヲ捜査致シテ居リマスト、結局先程申シ
マシタ通リニ、國體變革ノ結果ニナルノデ
ハナイカト多クノ場合存ズルノデアリマス、
單ニ國內ダケニ限ヅタ一部ノ單純ナル企デ
ゴザイマスコトガ明カニナリマスレバ、是
ハ刑法ノ内亂罪其ノ他ノ方デ裁ケルコトニ
ナルヤウニ思ハレルノデ、此ノ度提案致シ
テ居リマス國體變革ト私有財産否認及び
ニ關聯シタ罰則ダケデ、漏レナク取締ガ出
來ルト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス
○次田大三郎君 只今ノ御答辯ハ、第一ニ
第五十議會ニ於テ政府ハ「國體若ハ政體ヲ
變革シ」ト云フ原案デ出シタ處ガ、衆議院ハ
「若ハ政體」ト云フ文字ヲ削ッタ、而シテ貴族
院モ亦之ニ同意シタ、其ノ院議ヲ尊重シタノ
デアルト云フコトガ第一點デアリマス、ソ
レカラ第二點ハ、政體ノ變革ト云フコトハ、
ソレヲ搜查シテ行ケバ結局國體ノ變革ト云
フコトニナル、ソレダカラ其ノ方デ取締ル
カラ宜シイト云フノガ第二點、第三點ハサ
ウデナイ場合、詰リ國體ノ變革迄行カナイ
場合ハ、普通刑法ノ内亂罪其ノ他デ以テ取
締ルカラソレデ宜シイ、斯ウ云フ御説明ト

維持法ガ五十議會ニ提出セラレマシタ時ニ、原案ニハ「國體若ハ政體ヲ變革シ」トアリマシタ、而シテ衆議院ガ「若ハ政體」ト云フ文字ヲ削リ、而シテ貴族院ガソレニ同意シタコトハ御話ノ通リデアリマス、ソレハ大正十四年ノ話デアリマス、其ノ後昭和九年ニナリ定メタル統治組織ヲ崩亂セムトスル所ダケマシテ、貴族院ハ矢張リ政體ヲ變革セムトスル者ニ對シテモ、其ノ不法ニ帝國憲法ノ定メタル統治組織ヲ崩亂セムトスル所ダケハ、取締ラナケレバナラナイト云フ考ニナリマシテ、是ハモウ國議デ決定シタノデアリマス、ソレヲドノ程度迄商量ナサツカ、サウ云フ貴族院ノ國議ガアルニ拘ラズ、ソレヲ加味セラレチカツタ云フノハ、ドウ云フ理由カト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、第五十議會ニ「若ハ政體」ト云フ文字ヲ削ッタト云フ趣旨ハ、廣ク苟モ政體ヲ變革セムトスル者ニ對シテ制裁ヲ加ヘルト云フコトデアレバ、ソレハ廣過ギルンダ、ソレデハ例ヘバ貴衆兩院デ以テ帝國議會ヲ構成シテ居ルノヲ、一院ニスルガガ宜イノデヤナイカト云フ議論ヲスルトカ、請願ヲスルト云フヤウナコトデモ取締ラレルコトニナル、極ク合法的ナ手段デサウ云フコトヲ考ヘテ、事實ニ現サウトスルモノデスラ、嚴重ナル制裁デ取締ラレルト云フコトニナル、ソレハ餘リ廣過ギル、斯ウ云フ意味デ衆議院ガ削リ、而シテ貴族院モ同意シタノデアリマス、處ガ昭和九年ニ貴族院ガ意思表示ヲシマシタノハ、ソンナ廣イ意味ノコトデナク、苟モ政體ヲ變革セムトスル者ハ全部

ヨリカ、ズット狭イ範圍ノモノヲ嚴重ニ取締ル必要ガアルト云フコトニナッタノデアリマス、院議ヲ尊重シタト云フ話デアリマスガ、是ハ大正十四年ノ時ノ院議デアリマシテ、ソレカラ後貴族院ノ意見ハ變ツテ來テ居ル、其ノ點ダケハ變ツテ來テ居ル、ソレヲドノ程度商量ナスツテ、此ノ原案ヲ御出シニナッタカト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、再應其ノ點ニ關スル御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ第二ノ點 政體ノ變革ハ調べテ行ケバ國體ノ變革ト云フコトニ落著クカラ、取締ル必要ハナイト云フ御話デアリマスガ、私ハ必ずシモサウ云フ譯デヤナイト思ヒマス、國體ハ其ノ儘ニシテ置ク、併シナガラ政體ハ變ヘヨウト云フコトハ、國體ト政體トノ間ニ區別ヲ考ヘル以上ハ、政體モ國體モ同ジモノダト云フ憲法論ガ成立ツナラソレハ別アリマスガ、今日普通行ハレテ居ル憲法論ハ、政體ト云フコトト國體ト云フコトハ、別ナモノダト云フ觀念デヤツテ居リマスカラ、其ノ普通ノ觀念ヲ御採用ニナル以上ハ、政體ヲ變革セムトスルモノガ調べテ行ケバ、國體變革ニナルカラ取締ルノ必要ハナイト云フ御説ハ、如何ナモノカト思ヒマス、ソレカラサウデナクテ、ドウシテモ國體變革迄行カナイト云フ場合ニハ、内亂罪其ノ他ノ普通刑法デ行クカラ宜イト云フ御話デアリマス、併シナガラ此ノ治安維持法ハ普通刑法デハ不十分ダカラ、例ハ國體變革ニ關スル犯罪ヲ取締ルト云フヤウナ場合ノ如キ、普通刑法デハ不十分ダカラ、

普通刑法デハ罰シナイ行爲デモ、其ノ目的ノ點ハ普通刑法デモ内亂罪其ノ他ノ規定ガアルカラ、政體ノ變革ヲ不法ニシヨウトルモノニ對スル取締規定ヲ新タニ設クル必要ガナイト云フコトニハナラナイト思フノデアリマス、其ノ點如何ナモノデゴザイマセウカ、今一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 只今ノ御質問ハ、憲法ヲ變革スルモノヲ政體變革ト云フヤウニ仰セラレテ、不法ニ憲法ヲ變革スルモノヲ取締ルト云フヤウニ、貴族院ノ院議ガナツタノヲ考慮シナカッタノカト云フ御質問デアリマス、立法ノ際十分考慮ラ致シマシタノデゴザリマスガ、憲法ニ定ムル事柄ノ變更ハ、不法ニ依ル場合ニ限ルベキデナク、憲法ハ不法トカ不法デナイニ限ラズ、一體變革ヲスルコトハ是ハ許サレナイコトデゴザイマスカラ、憲法變革ノコトハ、悉ク是ハ本法ガナクトモ取締ルヤウニナッテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ政體變革ヲ企テタモノヲ捜査スレバ、其ノ結果ガ國體變革ニ至ルダラウト言ヒマシタノハ、政體ト國體ヲ一緒ニシテノ話デハナインデアリマス、政體變革ヲ企圖スル如キモノヲ調べ、實際上國體變革ト同ジャウナ結果ナル場合ガ多カラウト斯ウ云フ考ヘデゴザタノデゴザイマスカラ、此ノ憲法ヲ變革スルモノハ殆ド國體變革ト似寄ッタ考ヘニナ

○次田大三郎君 私ノ質問ノ言葉ガ足リマセナシ、
ナシトヨテアリマスカ、只今ノ御答辯ヲ
伺フト益、疑ヲ深クスルノデアリマス、私ハ
憲法ヲ變更スルモノヲ取締ルベキモノダト
云フコトヲ申シタコトハアリマセヌ、ソレ
ハ速記録デ御覽下サレバ分リマスガ、私ハ
憲法ニ定メテアル統治組織ノ機能ヲ不法ニ
變壞スルト云フコトヲ申シタノデアリマス、
憲法ニ定メタル統治組織トハ、例ヘバ議會
ノ如キモノデス、憲法ヲ改正スルト云フコ
ト、ソレ自身ガ不法デアルト云フ御話デア
リマスガ、ソレハ如何ナモノデアリマセウ
カ、憲法改正ハ無論御發議ハ、大典ニ依ツテ
御發議ニナシテ、ソレデ兩院ガ議決スルコト
ニナシテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ憲法
ノ國體ニ觸レナイ或條項ヲ直シテ戴キタイ
ト云フ、請願ヲ假ニ出ストスル、ソレガ不法
行爲デアルト云フコトハ私ハナイト思フ、
只今司法大臣ハ憲法ヲ動カサウト云フモノ
ハ不法ノ行爲ダト云フ風ニ御話ニナリマシ
タノハ、私ハドウシテモ諒解出來ナイノデ
アリマスガ、ソレニ相違ゴザイマセヌカ、
先ヅ其ノ點ヲ伺ヒマス

○國務大臣(柳川平助君) 憲法ノ變革ハ不
法デアルト云フコトハ相違ゴザイマセヌ、
併シ憲法ニ關スル請願ト云フヤウナコトハ、

ノ變革ト云フコトヲ企圖スルモノハ、憲法ノ變革ト云フコトニナルグラウト思フノデアリマス、ソレデ今仰シヤルヤウナ工合^二、此ノ貴族院ノ院議ニ付テ、此ノ前ノ昭和九年ノ時ニ兩院協議會ガ纏ラナカツタ事情ハ、衆議院ノ方デハ必ズシモ不法ノ手段ニ依ル場合ニ限ルベキニアラズト云フ意見モアリマシテ、兩院ノ意見ガ纏ラナカツタヤウナ次第デゴザイマシテ、マダ議ガ熟シテ居ナカツタト思フノデアリマス、其ノ後研究ハ致シマシテモ、矢張リ其ノ點ニ議論ガ行ク虞ガアルノデ、本改正案ニ此ノコトヲ載セマヌケ、先キ申シマシタヤウニ大體漏レナク取締ガ出來ルト云フ考カラ、國體變革ト私有財產制度ノ否認ノ結社、及ビ之ニ準ズル準備行爲等ヲ取締ルヤウニ立案サレタ所以デゴザイマス、其ノ點御承知ヲ願ヒマス○次田大三郎君 シツコイヤウデアリマスガ、此ノ憲法ノ國體ニ觸レナイ或條項ヲ直ス方ガ宜シイト云フ考ヘヲ以チマシテ、其ノ目的ヲ遂行スル爲ニ結社ヲシタ、サウ云フモノハ是ハ國體ヲ變革スルト云フコトデ、今度ノ案ノ「國體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ」云々ト云フモノニ該當シテ取締ラル、ト云フ御解釋デアリマセウカ、ドウモ御話ヲ伺フトサウ云フ風ニ思ハレルノデスガ、今一應御答辯ヲ伺ヒマス○國務大臣(柳川平助君) 只今ノ御意見ハ憲法一部ノ改正ヲスル爲ニ結社等ヲシタモノハ、第一條ノ國體變革ヲ企圖スルモノニ該當スルモノトシテ取締ガ出來ルカト云フ

御尋ネデゴザイマスカ

○次田大三郎君 左様デゴザイマス

○國務大臣(柳川平助君) 恐ラクサウ云フ
風ニ單純ニハ出ナイグラウト思ヒマスガ、
併シ是モ憲法ヲ改正スルト言シテ結社ナド
ヲスル、憲法ニ依シテ定シタ所ノ組織ノ變革
ヲスルト云フ、其ノ組織其ノモノガ議會制
度改正トカ云フヤウナ大キナ問題ニナリマ
シタナラバ、恐ラク對象ニナルト存ズル次
第デゴザイマス

○次田大三郎君 チヨットソコノ所ヲハッキ
リシテ置キタインデスガ、憲法ノ定ムル統
治組織ノ機能ヲ變ヘルト云フコトト、ソレカ
ラ憲法ノ國體ニ觸レナイ或條項ヲ變ヘルト
云フコトト、必ズシモ其ノ範圍ガ同ジチャ
ナイト思ヒマス、憲法ヲ變更セムトルモ
ノハ國體變革ト云フコトニナルト云フ先程
來ノ御説明ニ私ハ疑ヲ有シテ質問ヲ致シテ
居ルノデアリマス、一つはハ一國ノ司法大
臣ガ治安維持法ノ解釋ニ付テノ御言明デア
リマスルカラ、ハギリシテ置キタイト思
ヒマス、今一應……

○國務大臣(柳川平助君) 國體變革ト迄ハ
行カヌ所ノ改正ヲ企圖スルモノノ國體變革
ト言フト云フ意味デハナインデゴザイマス、
國體變革ヲ企圖スルモノト、ソレニ至ラヌ
モノトハ、自カラ差ガアリマセウガ、憲法ノ
重要點ヲ改革スルヤウナコトヲ結社ヲシテ
運動シヨウト云フヤウナ考ヘヲシテ居ル者
ハ、恐ラク此ノ本法ノ第一條ノ取締ノ對象
トナルデアラウ、事實取調べテ見ナケレバ
分リマセヌ、此ノ國體變革ニ至ルヤウナ考ヘ
ヲ真實有タズニ、過ダテ其ノ一部變更等ノ
企圖ガアッタモノデ、極ク單純ナモノデア
レバ普通刑法内亂罪等ノ適用ヲ受クベキモ

ノデアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○次田大三郎君 尚能ク今ノ御話ハ、速記ヲ讀ミマシテ今一
ガ出來マシタラバ、速記ヲ讀ミマシテ今一
應質問シテ見タイト思ヒマス、ドウモ御話
ガ前後違フ所ガアルヤウデアルジ、私能ク
呑込メマセスカラ、私ハ質問ヲ留保シテ、
其ノ點ニ關スル今ノ憲法改正ヲ企圖スルモ
ノガ國體變革ナリヤ否ヤト云フ風ナ點ニ關
スル質問ハ今日ハ是ダケニシテ置キマス、
ソレカラ第二ノ點デアリマスルガ、普通ノ
刑法ニ規定シテ居ルコトデ取締レバソレデ
十分デアルト云フ御説明デアリマス、併シ
ナガラ昭和九年ニ貴族院ガ、憲法ノ定ムル
統治組織ノ機能ヲ不法ニ變革スルコトヲ、
私有財產ヲ否認スルコト同ジヤウニ取扱ツ
テ特別ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ、普通刑
法ノ規定デハ足リナイ、ソレデハ十分斯ク
ノ如キ不逞ノ者ヲ取締ルコトガ出來ナイト
云フ趣旨デ斯ウ云フ修正ヲ加ヘタ次第デア
リマス、其ノ時ノ事情ヲ申上ガマスルト、
是ハ大正十四年ニ初メテ本法ガ制定セラル
時ニハ、マルデ豫期出來ナカッタコトナ
ンデアリマスルガ、其ノ當時色々ナ「テロ」
行爲ガ行ハレタノデアリマス、此ノ治安維
持法ヲ議會デ審議スル直前ニ埼玉縣デ、鈴木
政友會總裁ヲ襲撃スル計畫ガアリマシテ、
大勢ノ者ガ捕ヘラレタト云フヤウナコトガ
アリマシタ、其ノ人達ノ主張ハ、ドウモ議
會ト云フモノヲ否認スルコトニアルラン
イ、ソレハサウ云フ者ハドウシテモ取締ラ
ナケレバイケナイト云フコトカラ此ノ規定
が挿入サレタ次第ナンデアリマス、其ノ
シタモノノ、併ノ其ノ當時ハマダ～議會
否認論者ハ極ク少數デアリマシテ、而モソ

レヲ暴力ヲ以テ實行シヨウト云フ人達ハ非

常ニ少カッタノデアリマス、非常ニ少數デ

アルカラスウ云フ規定ヲ挿入スル必要ガナ
ガ、斯ウ考ヘテ馬鹿ニ思ヒマス、政府ノ原案支持ノ理由デ
アッタノデアリマス、木村前司法大臣ガ其ノ
當時ノ刑事局長デ、松本學君ガ警保局長デ、
十四年始メテ本法ガ制定セラレマシタ時ニ
頻リニ委員會デサウ云フ說ヲ述ベテ原案支
持ヲサレタノデアリマス、ソレハ其ノ大正
ハサウ云フコトハマルデ考ヘ得ナカッタ、處
ガ昭和九年ニナリマスルト、サウ云フヤウ
ナ社會情勢ガ發生シマシタカラ、サウシテソ
レハ非常ニ危険デアルト云フノデ、此ノ條
項ヲ貴族院ハ加ヘタノデアリマス、今日ニ
ナシテ見マスルト、其ノ議會制度ヲ否認スル
ト云フ議論ハ、昭和九年當時ニ較ベマスト
ズット強クナシテ參ツテ居ルノデアリマス、相
當ナ政治家ガ、議會ナント云フモノハモウ
演シテシマヘト云フヤウナコトヲ放言スル
コトサヘモアルヤウニナシタノデアリマス、
私ハ貴族院ノ修正、即チ憲法ノ定ムル統治
組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スルト云フコトヲ、
私有財產制度ヲ否認スルト同様ニ取締ルベ
シト云フ其ノ主張ノ根據、其ノ主張ヲシナ
ケレバナラナイヤウナ社會情勢ハ、昭和九
年ヨリカズツト今日ハ進ンデ參ツテ居ルト
思フノデアリマス、ソレニモ拘ラズ普通ノ
ケレバナラナイヤウナコトカラ此ノ規定
が挿入サレタ次第ナンデアリマス、其ノ
シタモノノ、併ノ其ノ當時ハマダ～議會
否認論者ハ極ク少數デアリマシテ、而モソ

ナシタリ、或ハ其ノ準備ヲナシタリスルヤ
ウナモノハ、大體本法ノ國體變革ト云フモ
ノト同ジ點カラ出發シテ居ルヤウニ思ヒ
スノデ、搜查ヲシタラバ、恐ラク第一條
ノ對象ニナルト思ヒマス、非常ニ重要ナモ
ノハ……、ソレデナクシテ極ク單純ナモノ
デアレバ、普通ノ刑法ノ内亂罪デ取締レル
ノデ、之ニ漏レルコトハナイグラウト考ヘ
ル次デアリマシテ、第一條ニ關シマシテ
モ、當時ノ昭和九年ノ改正案當時トシマス
レバ、第一條ノ準備團體若クハ其ノ又準備
ノヤウナモノ迄モ取締ルヤウニナシテ居リ
マスノデ、恐ラクサウ云フ大ソレタコトヲ
スルモノハ、皆此ノ中ニ入ッテシマフト考ヘ
ルノデアリマス、而シテサウ云フ風ニシテ
國體變革ノ外廓、若クハ其ノ準備運動ト云
フモノデ取締ツテ、ソレニ入ラスト云フヤウ
ナ極ク單純ナモノハ一般普通刑法ノ内亂罪
デ取締ツテ十分デアラウト考ヘルノデアリ
マス

○次田大三郎君 先程カラ申シマス通リニ、
國體ト云フ觀念ト政體ト云フ觀念ハ違ツテ
居ル觀念デアル、デ政體ヲ變革セムトス
者ガ、決シテ必ズシモ國體ヲ變革セムトス
ル者ニハ該當シナイノデアリマス、ドウモ
司法省ハ法文ノ解釋上、隨分無理ナ解釋ヲ
サル、ヤウニ思フノデアリマス、政體ノ變
革ヲ企圖シタモノガ、ソレヲ取調べテ行ケ
バ、國體變革ニナルノダ、重イモノデモ……、例ヘ議會ヲ
ノダ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、私ハ重
イモノデモ、ナラヌ場合ガ必ズヤアルト思
ヒマス、重イモノデモ……、例ヘ議會ヲ
潰シテシマフト云フヤウナモノデモ、必
シモソレガ憲法第一條ニ定メテ居ル日本ノ
國體ヲ變革スルト云フコトニハナラナイト

○國務大臣(柳川平助君) 普通ノ刑法デ十
分デアルト切離シテ考ヘレバ、サウ云フ風
カ、今一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
シマシタ通リニ、憲法ニ定ムル所ノ統治組
織ヲ不法ニ變更シヨウト云フヤウナ結社ヲ

ナシタリ、或ハ其ノ準備ヲナシタリスルヤ
ウナモノハ、大體本法ノ國體變革ト云フモ
ノト同ジ點カラ出發シテ居ルヤウニ思ヒ
スノデ、搜查ヲシタラバ、恐ラク第一條
ノ對象ニナルト思ヒマス、非常ニ重要ナモ
ノハ……、ソレデナクシテ極ク單純ナモノ
デアレバ、普通ノ刑法ノ内亂罪デ取締レル
ノデ、之ニ漏レルコトハナイグラウト考ヘ
ル次デアリマシテ、第一條ニ關シマシテ
モ、當時ノ昭和九年ノ改正案當時トシマス
レバ、第一條ノ準備團體若クハ其ノ又準備
ノヤウナモノ迄モ取締ルヤウニナシテ居リ
マスノデ、恐ラクサウ云フ大ソレタコトヲ
スルモノハ、皆此ノ中ニ入ッテシマフト考ヘ
ルノデアリマス、而シテサウ云フ風ニシテ
國體變革ノ外廓、若クハ其ノ準備運動ト云
フモノデ取締ツテ、ソレニ入ラスト云フヤウ
ナ極ク單純ナモノハ一般普通刑法ノ内亂罪
デ取締ツテ十分デアラウト考ヘルノデアリ
マス

ソレハソレデ重イモノデナイカラ普通刑法ノ規定デ取締テ十分デアルト云フ御説明デアリマスガ、私ノ考デハ、重イモノデモ、例ヘバ憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變革セムトスル、隨分是ハ重イモノダト思ヒマスルガ、之ガ必シモ國體變革ニハナラヌ、ドウモ國體變革ニナラヌモノハ、ソレハ普通ノ輕イモノダト云フ風ニ御考ニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、其ノ點ハ見解ノ相違ト言ヘバソレ迄デアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ、若シ今一應御説明ガ願ヘレバ結構デアリマス

バ、是ハ他ノ法令ヲ以テ處斷ノ出來ルヤウニ從來カラナシテ居ルノヲ其ノ儘ニ處斷シテ行ッタナラバ宜カラウト云フ考デゴザイマス、是ガハツキリココ迄ガ政體、ココ迄ガ團體ト云フコトハ、恐ラク實際ノ場合ニ於テハ、必ズソコハ兩方組ミ合テ來ルダラウト存ズルノデアリマス、實際ノ場合ニ於テハ、結社ヲシタリ、其ノ準備ヲシタリスルト云フ位ナ計畫ノ背後ニハ、國體變革ト云フヤウナコトニ至ルノデアラウト思フノデゴザイマシテ、多クノ場合ハ、搜查スルト先キカラ申シマス通リニ第一條ニ該當スル、若シクハ二條三條ニ該當スルヤウニナルダラウト考ヘテ居ル次第ゴザイマズ○次田大三郎君要スルニ政體ヲ變革セントスル、具體的ニ申スト、其ノ中デ憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壊セントスルモノハ、調べテ見レバ是ハキット國體變革ニナルンダ、國體ノ變革ヲ企圖スルコトニナルンダ、サウ云フ斷定ノ下ニ御話ニナツテ居ルヤデアリマスガ、私ノ考デハ必シモサウハナラヌ、サウナラヌモノハ大ソレタモノデナイト云フヤウナ御話デアリマスガ、サウナラヌモノデモ非常ニ大ソレタモノガアルト思フノデアリマス、普通刑法デクハ結社ヲ組織セントスルモノヲ取締ッテ居ナイ、ソレハ取締ラヌデモ宜イト云フ御意見デアリマセウカ、例ヘバ今問題ニナシテ居リマス神兵隊ノ如キ其ノ他ノ所謂愛國團體ト云フヤウナ、是ハモウ日本ノ國體ヲ變體ヲ擁護シヨウト云フ考デヤシテ居ルコトハ疑ナイ、併シサウ云フ愛國團體ノ中ニデ

ヲスル人ハアル、場合ニ依レバソレヲ不法ニ變壞セントスル企テヲスル者ガナイトモ言ヘナイ、サウ云フ者ニ對シテ私有財産制度ヲ否認スル者位ノ程度ノ位ノ御取締ヲサル必要ガアルト云フノガ貴族院ノ意見デアリマス、如何デセウカ、サウ云フコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタ者若シクハ其ノ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲナシタ者ヲ取締ラヌデ宜イト云フ御意見デゴザイマセウカ○國務大臣(柳川平助君) 取締ラヌデ宜イト云フヤウナ考ハ、取締ル結果ニナルダラウト存ジテ居ル次第アリマス○次田大三郎君 是レ以上何度ヤッテモ結局同ジコトデアリマスカラ、此ノ程度デ止メマス○山岡萬之助君 チヨット私ハ議事進行ニ付テ此ノ際申上ゲタイト思ヒマス、政體ト云フ問題ハ是ハ治安維持法ヲ制定ノ際カラノ議論デ、速記錄ニモ相當書イテアリマス、其ノ後只今問題トシテ居リマスル憲法ノ定ムル機能問題、之ヲ不法ニ變壞スル、變革デハナイ、變壞スル……壞ハス、サウ云フコトニ付テハ相當ニ當時ノ速記錄ニ明カニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スル此ノ問題ニ付テハ、是ハ此ノ時ニ不成立ニ終ッタモノデ、此ノ意義ハドウ云フモノデアルト云フコトヲ、深ク此ノ委員會ニ於テハツキリ決メテ置ク必要ハ私ハナイト思ヒマス、併シ政體ト云フコトハデス、是ハ法律ニ明示シヨウトシナカラウガ、國體、政體ト云フコトハ嚴然タル區別ガアリ、此ノコトダケハハツキリシテ置キマセヌト云フト、此ノ法ノ運用ト云フコトニ支障ヲ生ズルト私ハ考フル

テ居リマスルト云フ、ドウモ其ノ少シ喰ヒ違ガアルト思ヒマスルシ、司法大臣ノ御答辯ノ中ニハ、國體ト政體ハ大體一致シテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、然ラバ一番最初ノ提案ニ、「國體政體ヲ變革シ」ト書ク筈モナイノデアリマス、又削ツタ際ノ議論ト云フモノモ、斯ウ云フヤウナコトナンデアリマス、本會議ニ於テ政體トハ代議政體ダ、斯ウ説明サレタノデ、併シ代議政體ト云フモノハ、政體ノ全體デハナイ、代議政體以外ノ時代デモ、政體ト云フモノハアル、我ガ國體ハ建國以來連綿トシテ變リハナイ、然ルニ政體ハ何遍カ變ツテ居ル、ソレデアルカラサウ云フ點ヲ論議シテ、政體トハ今日ハ代議政體ト説明シテアル、ソレデハ政體ト云フ説明ガ盡シテ居ラナイ、併シソレヲドウモ更ニ蒸シ返シテ、色々議論ヲスルト云フコトハ頗ル困難デアル、サウ云フコトデアノ政體ト云フ字ハ削ヅタノデアッテ、實ハモウ少シ政體ト云フ意義ガ明カニナッテ、委員會、政府考へ方ヨニシマシタナラバ、其ノ際ニ削ル理由モナカッタノデアラウト思ヒマスガ、サウ云ッタ理由デ兎ニ角削ラレテ居ル、デアリマスカラ此ノ委員會ニ於テハ、國體ト政體ト云フモノノ差ハ、之ヲ明カニシテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、國體ハ是ハモウ天壤無窮デアリマス、此ノ範圍ニ變ル譯ハナイ、然レドモ政體ト云フモノハ是ハ變リ得ル、ソコデ政體ト云フモノノ根本義、根本義ト云フモノガ變革スルコトヲスルナラバ、ソレハ國體ニ影響シヨウト思ヒマス、然ラズンバ根本義ニ非ズシテ、政體ノ此ノ動キ方ト云フコトニナルト、國體ソレ自體ニハ私ハ關係ガ

ナイヤウニ思フノデアリマス、何レニ致シ
マシテモ、政府ニ於テ十分御研究ヲ願ッテ、此ノ取捨ヲ明カニシテ置クコトガ、此ノ委員會ノ議事ヲ進メル上ニ私ハ必要ダト思ヒ
マスカラ、左様ニドウゾ御願致シタイト思ヒマス、委員長ニ御願ヒ致シテ置キマス、ソレカラ私ハ續イテ一ツ御尋ネシタイト思ヒマス、此ノ治安維持法ノ改正案ガ、時局ノ上ニ極メテ必要ナルコトハ政府ノ考へ通リニ私ハ認メルノデアリマス、ソコデ尙一層之ヲ時代ノ必要ニ照シテ、有效適切ニ効キ得ルヤウニナラムコトヲ希望スル者デアリマス、然ル處私有財産ニ關シマスル規定ハ、現行法ト僅カニ模様ガ變ッテ居ルダケデアリマシテ、罰スル所ノ大筋カラ申シマスルト云フト、改正ハナイト申シテ宜イヤウニ思フノデアリマス、而シテ私有財產制度ト云フモノガ、治安維持法ノ實ハ中心問題デアル、勞農政府ヲ樹立スルト云フコトガ、政府ニ於テモ既ニ昨日御説明ニナッテ居ル、近時共產主義ハ大衆ヲ招致シテ合法、不合法ニ勞農國家ヲ樹立スル、斯ウ云フ風ナ考ヘ方デ進ンデ居ッテ、日本共產黨ヲ是非作ルノダト斯ウ云々努力ヲシテ、大衆ヲアヂツテ居ル、實ニ今日ハ大衆ニ向ッテ其ノ思想ヲ呼び掛ケテ居ルコトハ誠ニ危險ノ次第デアリマス、ソコデ公益ノ重大デアル、最モ重大デアリマス所ノ團體ニ付テ、一昨々日司法大臣ノ御説明ニナリマシタ、數項目ヲ特別條文ニ御制定ニナッテ、之ヲ完全ニ擁護セラル、爲ニ御注意セラレタノハ、深ク其ノ點ヲ伺ッテ私ハ敬意ヲ表スル者デアリマスガ、併シ其ノ進ミマスル所ノ土臺ト云ヒマスカ、或ハドウシテモ通ラナケレバナラヌ徑路ト申シマスルカ、其ノ私有財產

ヲ否定シテ、階級闘争ヲ展開スル、而シテ所謂上ノ階級ヲ破壊スル、サウシテ勞務者農民ノ國家ヲ樹立スル、斯ウスルニハ私有財產否定ノ問題が當面ニブッ突カッテ來ルノ國體ト云フモノヲ名目ノ上ニ於テハ擁護ヲ以テ進ム、ソレハドウモ重イ刑罰ヲ以テ處罰セラレルヨリハ、輕イ刑罰ヲ以テ目的ヲ達スルコトガ利巧デアル、魚ヲ捕ルニシテモ網ノ目ノ大キイトカ弱イ所カラ抜ケルニ決シテ居ル、ソコデ私有財產制度ヲ斯クノ如ク現行法通リニシテ、一方ヲ非常ニ強化シテ、網ノ目ヲ非常ニ密ニシタ、斯ウナレバドウシテモ私有財產制度ノ方へ動キト云フモノハ流レテ參ルノハ事理ノ當然ダト思フ、共產主義ノ最モ目標トスル今日ノ動キデアル私有財產制度ノ方モ、一方ヲ強化スル以上ハ公益ノ…輕イカラト云々テ此處ニ網ヲ緩メテ刑罰ヲ弱クスル、斯ウ云フコトデハ、治安維持法ノ本當ノ目的ハ私ハ達成出來ナイト思フ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスルノデアリマスルガ、司法大臣ハ其ノ點ニ付テドンナ御考デアリマセウカ、第一段ニ、他ノ法律ニ依ジテサウ云フモノハ擁護出来ル、私有財產ノ保護ノ如キハ、民法其ノ他ノ法律ニモ刑法ニモ、相當規定ガアルカラ、ソレ等デ擁護スル、假ニ或程度ノ刑罰ガ課スルコトガ出來マシテモ、決シテソレハ目的的罪トナッテ居ル所ノ強イ刑罰ヲ以テ臨ムモノデハナイノデアリマス、況ヤ此ノ案ハ

第二章以下ニ刑罰手續ヲ規定シ、第三章以下ニ於テ豫防拘禁ヲ規定シテ居ル、ソレデアルカラ此ノ法律ニ抵觸スレバ、ドウシテ

モ直ラナイヤウナ人間ハ豫防拘禁デモ、ドレダケ長イ間デモ改心スル迄、即チ共產思デアリマシテ、其處ヲ潛ラズシテ勞農政府ノ樹立ハ出來ナイ、デアルカラ近頃ノ我ガ國ノ共產運動ト云フモノハ合法的ニナリ、國體ト云フモノヲ名目ノ上ニ於テハ擁護ヲ以テ處罰セラレルヨリハ、輕イ刑罰ヲ以テ目的ヲ達スルコトガ利巧デアル、魚ヲ捕ルニシテモ網ノ目ノ大キイトカ弱イ所カラ抜ケルニ決シテ居ル、ソコデ私有財產制度ヲ斯クノ如ク現行法通リニシテ、一方ヲ非常ニ強化シテ、網ノ目ヲ非常ニ密ニシタ、斯ウナレバドウシテモ私有財產制度ノ方へ動キト云フモノハ流レテ參ルノハ事理ノ當然ダト思フ、共產主義ノ最モ目標トスル今日ノ動キデアル私有財產制度ノ方モ、一方ヲ強化スル以上ハ公益ノ…輕イカラト云々テ此處ニ網ヲ緩メテ刑罰ヲ弱クスル、斯ウ云フコトデハ、治安維持法ノ本當ノ目的ハ私ハ達成出來ナイト思フ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスルノデアリマスルガ、司法大臣ハ其ノ點ニ付テドンナ御考デアリマセウカ、第一段ニ、他ノ法律ニ依ジテサウ云フモノハ擁護出来ル、私有財產ノ保護ノ如キハ、民法其ノ他ノ法律ニモ刑法ニモ、相當規定ガアルカラ、ソレ等デ擁護スル、假ニ或程度ノ刑罰ガ課スルコトガ出來マシテモ、決シテソレハ目的的罪トナッテ居ル所ノ強イ刑罰ヲ以テ臨ムモノデハナイノデアリマス、況ヤ此ノ案ハ

モ直ラナイヤウナ人間ハ豫防拘禁デモ、ドレダケ長イ間デモ改心スル迄、即チ共產思デアリマシテ、其處ヲ潛ラズシテ勞農政府ノ樹立ハ出來ナイ、デアルカラ近頃ノ我ガ國ノ共產運動ト云フモノハ合法的ニナリ、國體ト云フモノヲ名目ノ上ニ於テハ擁護ヲ以テ處罰セラレルヨリハ、輕イ刑罰ヲ以テ目的ヲ

想ヲ無クナス迄ハ改心ヲ促スコトガ出來ル、又入レル、少シモ效果ハナイ、此ノ法

律ハ即チ刑事手續以下豫防拘禁ヲ以テ、斯様ナ不逞ノ徒ハ其ノ心ノ改マル迄拘束スル、誠ニ用意周到ナノデアリマス、用意周到デ

アルケレドモ、現在最モ必要デアル所ノ私

想ヲ無クナス迄ハ改心ヲ促スコトガ出來ル、又入レル、少シモ效果ハナイ、此ノ法

律ハ即チ刑事手續以下豫防拘禁ヲ以テ、斯

様ナ不逞ノ徒ハ其ノ心ノ改マル迄拘束スル、誠ニ用意周到ナノデアリマス、用意周到デ

ソレハ治安維持法ノ違反デハアリマセヌカラ……、從ツテ此ノ豫防拘禁ニ付ス譯ニハ參リマセヌノデアリマス、サウスルト極メテ輕イ刑罰デ外ヘ出テシマフ、此ノ法律デ若シ宣傳ト云フコトヲ假ニ罰シマスレバ、五箇月刑ヲ科シマシテモ、執行シテ見テ共産思想ヲ止メナイ間ハ、今度ハ豫防拘禁デ又

二年、斯ウ云フ風ニ行キマスルカラ、兩々相俟ッテ此ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ルノデアリマス、デアリマスカラ、外ノ法律デ罰セラレルト云フコトデ、此處ニ規定ハ要ラナカッテ云フコトデハ正當ナ説明トハ受取レナイヤウニナル、豫防拘禁ヲ持ツテ來ル前提ガナクナツテ來ルノデアリマスカラ、其ノ點、審議中ニ於テ御考慮ノ程ガアリマシタナラバ承リタインデアリマス、併シマアサウ云フコトハナクテモ、此ノ原案ヲ以テヤッテ行クト考ヘタニ過ギナインデアルカ、御考慮ノ程ガアリマシタラ承りタイ

○國務大臣(柳川平助君) 只今ノ私有財產制度否認ノ方ハ、結社ニアラザレバ、宣傳等ヲシテモ、本法ニ觸レナイカラ豫防拘禁スルコトハ出來ナイカト云フ御尋ねハ御尤モデゴザイマシテ、コヽ迄私有財產制度ノ單ナル宣傳トカ、講演トカ云フモノハ本法デ直接ニ取締ルヤウニハナツテ居ナイノデアリマス、立案當時ハ、是ハ他ノ法令ニ依テ制裁ガ出來ルカラ、之ヲ取締ルコトガ出来ル、是ハ斯様ナ法令デ取締テ居ル中ニ嵩ジテ來マシテ、遂ニ結社ヲ爲シ、若シクハ其ノ方法ガ一方ニ移リマシテ、底ニ潛ンデ居ル所ノ國體變革等宣傳、教唆、若シクハ結社準備、結社等ノ順序ニ行クヤウニ見スウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山岡萬之助君

今御説明ノヤウニ、此ノ案デ参リマスレバ、結局其ノ輕イ行動ヲ爲シ段々思想ノ宣傳ヲシテ居ル場合ニ於テ

ハ、遂ニ取締ガ出來ズシテ、重イ行動ヲ爲スニ到ツテ初メテ取締ガ出來ルト云フコトニナルコトハ、御説明ノ通リデゴザイマス、ソコデ豫防シヤウト云フコトハ、犯罪ヲ豫防シヤウト云フノデアリマス、先づ初メカラ豫防的ニ出テ、私有財產其ノモノヲ保護スルト云フコトデノイ、共産思想ヲ防止スルト云フ見地カラサウ言ツタ豫防的考ヘ方ノ必要ガアツノデハナカッタカ、斯ウマア考ヘマシテ私ハ御問ヒシタ譯デアリマスガ、御答ニ依ツテ一應諒承致シマシタ、此ノ場合質問ハ一應打チ切リマス

○織田萬君 私議事ノ進行ニ付テ申上ゲタイト思ヒマスガ、本日ハ司法當局ニ次イ内務、文部兩當局ノ御説明ヲ祕密會ニ於テ伺ヒタイト云フヤウナ順序ノヤウニ思ツテ居リマシタノデスガ、兩當局ノ御出席ガ遲カッタ爲ニ、只今案ノ内容ニ付テノ質疑應答が始ツテ居ルノデアリマスガ、幸ヒ内務、文部兩當局モ御出席ニナツテ居リマスカラ、此ノ際矢張リ祕密會ヲ開イテ、御質問ノ方ガアツタナラバ御質問ヲ願フト云フコトニシタ方が如何デセウカ、兩當局ノ御都合モアリマセウカラ、又コッチガ勝手ノ時ニ御出席ヲ求メルト云フコトモドウカト思ヒマスガ、サウシマスレバ祕密會ニ移ツテ兩當局ノ御話ヲ伺フト云フコトニシタ方ガ、議事ノ進行ノ上カラ宜クハナイカト思フノデアリマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前午後一時三十八分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前午後ノ一時半カラ再開ヲ致シマス

マシタガ、如何デアリマセウ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

アル事柄ハ、私ガ改メテ申上ゲル迄モナイコト存ズルノデゴザイマス、而シテ其ノ教學刷新ノ根本ト致シマスルコトハ、是亦申上ゲル迄モナク、國體ノ本義ニ透徹セシ

ヨリ祕密會ニ移リマス、國務大臣、議員、其ノ他本法ニ關係ノアル政府委員及事務局員ノ外御退場ヲ願ヒマス、ノ外御退場ヲ願ヒマス、

ミナルコトハ、御説明ノ通リデゴザイマス、ソコデ豫防拘禁制度ヲ置イタト云フコトハ、犯罪ヲ豫防シヤウト云フノデアリマス、先づ初メカラ豫防的ニ出テ、私有財產其ノモノヲ保護スルト云フコトデノイ、共産思想ヲ防止スルト云フ見地カラサウ言ツタ豫防的考ヘ方ノ必要ガアツノデハナカッタカ、斯ウマア考ヘマシテ私ハ御問ヒシタ譯デアリマスガ、御答ニ依ツテ一應諒承致シマシタ、此ノ場合質問ハ一應打チ切リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ祕密會ヲ閉デマシテ開會ヲ致シマス、コヽデ一シハツキリシタ御答辯ヲ願ツテ置イタ方ガ、ダケ申上ゲテ置キマス、ソレデハ會議ハ此ノ法案ヲ審議スル上ニ於キマシテ御便宜ダラウト思ヒマスガ、モウ一度一ツ其ノ點ヲハツキリ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレシハツキリシタ御答辯ヲ願ツテ置イタ方ガ、此ノ次ノ公開ノ席ニ於キマシテ、國體ト政體トノ關係ニ付テ、司法省、政府ノモウ少シハツキリシタ御答辯ヲ願ツテ置イタ方ガ、連關スル御質問ガアリマシタノデアリマスガ、先程次田君トノ政體ト國體デアリマスガ、先程次田君トノ政體ト國體ニシハツキリシタ御答辯ヲ願ツテ置イタ方ガ、此ノ法案ヲ審議スル上ニ於キマシテ御便宜ダラウト思ヒマスガ、モウ一度一ツ其ノ點ヲハツキリ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレシハツキリシタ御答辯ヲ願ツテ置イタ方ガ、却ツテ形式ニ墮スルコトニ於テ實踐、實踐嫌ヒガアルノデアリマス、又一面ニ於キマシテ實踐的ニ體得セシメムトスルガ爲ニ、ソレハ抽象ニ墮シテ、觀念的ナモノニ終ルト言ヒナガラ、又一面ニ於テ抽象ニ墮スル憂ガナインデモナインデゴザイマシテ、其ノ邊ノ所ヲ十分ニ自己ノ實際生活ニ於テ國體ノ本義ヲ體得スルト云フ方針ニ向ツテ、教育ガ進メラネケレバナラナイト思フノデゴザイマス、ソレニ對シマシテ從來ノ學校教育ノ方針其ノモノハ少シモ誤リガナカッタト存ジマス、國體ノ本義ニ則ルコト、國體ノ本義ヲ徹底セシメルコト、又或ハ實際問題ト致シマシテ教育ニ關スル御勅語ノ奉戴ニ我ガ國ノ教育ノ方針ガアリマスコトハモウ申上ゲル迄モナニコトデゴザイマス、併シ其ノ間ニ其ノ方法ニ實際ノ問題トシマシテ甚ダ遺憾ノ點ガ少クナカッタト存ズルノデアリマス、是ハ一面ニ於キマシテハ外國ノ文化ヲ輸入スルコトノ急ナルガ餘リ、他ノ國ノ發展スル文化ニ、惡ク申シマスナラバ、眩惑スル、或ハ陶醉スルト云フ傾向ヲ帶ビテ來マシタガ爲ニ、自己ノ本然ノ立場ヲ忘レテ居ツタカノヤウニ見エル趣旨ガアツタノデゴザイマシテ、

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前午後十一時五十六分休憩

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 先刻モ内務大臣カラ縷々御話ノアリマシタ通リニ、我ガ國方針ガアリマスコトハモウ申上ゲル迄モナニ引續キマシテ、開會ヲ致シマス

○國務大臣(橋田邦彦君) 方針ガアリマスコトハモウ申上ゲル迄モナニコトデゴザイマス、併シ其ノ間ニ其ノ方法ニ實際ノ問題トシマシテ甚ダ遺憾ノ點ガ少クナカッタト存ズルノデアリマス、是ハ一面ニ於キマシテハ外國ノ文化ヲ輸入スルコトノ急ナルガ餘リ、他ノ國ノ發展スル文化ニ、惡ク申シマスナラバ、眩惑スル、或ハ陶醉スルト云フ傾向ヲ帶ビテ來マシタガ爲ニ、自己ノ本然ノ立場ヲ忘レテ居ツタカノヤウニ見エル趣旨ガアツタノデゴザイマシテ、

無論從來ノ教育ニ於キマシテモ我ガ國が是レダケノ發展ヲ致シマシタコトニ付キマシテハ尠カラザル貢獻ヲ致シテ居ルト存ズルノデアリマスケレドモ、其ノ間ニ其ノヤウナ意味ニ於キマシテ弊風ガ色々ナ方面ニ於テ釀サレ來ツテ居ルト存ズルノデアリマス、先ヅ其ノ弊風ノ由ツテ來ル根源ヲ斷ツ方針ニ向ツテ方策ヲ立テマセヌケレバ、唯一片ノ言葉、一遍ノ指圖デハ眞ノ教育刷新ハ出來難イト存ジテ居ル次第アリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ今回小學校令ヲ改正致シマシテ、國民學校ト唯名稱ヲ改メルノミナラズ、其ノ内容、教育ノ方針等ヲ刷新致シマシタ事柄ハ、教育ノ新體制ノ先づ第一歩デアリマシテ、其ノ國民學校ニ於ケル教學ノ根本趣旨ハ、中等學校、高等學校、大學迄一貫シテ徹底サレナケレバナラナイト存ジテ居ル次第ゴザイマス、此ノ教育ノ新シキ體制トデモ言ヒマスルカ、ガ、如何ニ實現シテ行クカト云フ事柄ハ、今後我々ノ十分ニ力ヲ盡シテ行カナケレバナラナイ點ナノデゴザイマシテ、唯組織要綱ガ出來上ツタガ故ニ教學ノ刷新ガ出來タト云フヤウナコトヲ毛頭考ヘテ居ルモノデハゴザイマセヌケレドモ、先づ第一步ヲ踏ミ出スト云フコトニ於テ非常ニ感ビテ居ル次第ナノデゴザイマス、其ノヤウナ意味ニ於キマシテ色々ナ弊害ヲ羅列致シマスレバ、數限りナイトモ言ハレルノデアリマスケレドモ、最モ從來ノ弊害ノ大キイモノハ、學校デ教育ヲシテ居ルト言ヒナガラ、特ニ高等ノ學校ニナレバナリマス程、教ヘラル、者ト教師ニ對シテ對抗シ、反抗セムトスル、教

師ハ生徒ニ對シテ溫かキ師ノ情ヲ以テ之ニ接スルト云フコトヲ忘レテ居リマシテ、對立ト云フ形ニ於テノミ生徒、學生ニ對シテ居ツタト云フ傾キガ相當見エマス、此ノ點ガ先ヅ是正サレマセヌケレバ、假ニ教師ノ方カラ正シク導カウトシテモ生徒ナリ、學生ガ離レテ行ク、學生ノ方カラ眞摯ナル覺悟ヲ有ツテ道ヲ求メムトシテ居ツテモソレヲ與ヘテ吳レルモノガナイト云フコトニアリマシテハ、是ハ教育ノ實ノミナラズ、數學ノ刷新ト云フ意味ニ於ケル教育ハ實行出來ナイコトデゴザイマス、先ヅ差當リノ問題トシマシテハサウ云フ點ヲ十分ニ是正シナケレバ、唯色々々ナ弊害ト云フモノヲ一ツ一ツ唯刈取ル如キ刈取り方ヲ致シマシテモ、依然トシテ其處へ種ハ残リ、又昌ハ依然トシテアルト云フコトデアラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス、眞ニ一人ノ子弟ヲ預カッテ教育スルト云フ者ガ實際ニ自分ハ教育家デアルカドウカ、而モ其ノ教育ト申シマスノハ我々ニ於テ考ヘマスコトハ日本人ヲ作り上ゲルト云フコトデゴザイマスカラ、其ノ教育者トシテノ眞ノ信念、自覺ト云フコトニハ眞ノ日本人トシテノ自覺、信念ヲ持ッタ上ノ者デナケレバ、我ガ國ニ於テ教育者ト云フコトハ言ヘナイト存ズルノデアリマス、先ヅ教ヘル者ノ側ニ於キマシテ眞個日本人デアルト云フ自覺、信念、他ノ言葉デ申シマスナラバ、國體ノ本義ヲ體得スルコトニ於テ自己ガ教育者デアル事柄ニ目覺メテ來マスレバ、從來ノ諸弊ノ大半ハ控除サレルモノト存ジテ居ルノデゴザイマス、其ノヤウナ方向ニ展開ヲサセヨウトスルガ爲ニ先づ必要ナ事柄ハ、マア言葉ノ上カラ殊ニ國體ノ本義ト云フモノヲ正シク理解サセルト

云フ事柄が先づ十分必要デモアリマスガ、先づ各々ノ教育ニ携ハル者ノ持ツテ居ル思想ガ果シテ我が國ノ國體ノ本義ニ合致シテ居ルカ否カト云フ事柄ノ反省ヲ十分ニ求メナケレバナラナイト思フノデゴザイマス、國體ノ本義ニ則ラザル思想ヲ持ツテ我が國ノ子弟ヲ教育スルト云フ事柄ハ是ハ許サレナイコト存ズルノデアリマシテ、其ノ點モ十分ニ是正シナケレバナラヌト存ジマス、就キマシテハ又其ノヤウナ趣旨ニ於キマシテ機會ノアル毎ニ、又機會ヲ出來ルダケ度設ケマシテ、或ハ教員ノ再教育ヲスル、或ハ自己ノ思想ノ再検討ヲ絶エズ行ハセテ、其ノ批判ヲ他ニ求メルト云フヤウナ方法モ講ジナケレバナラナイト存ズルノデアリマス、殊ニ高等學校程度ノ最モ此ノ青年ノ思想ヲ確實ニシナケレバナラナイ學校ノ教職員ニ至リマシテハ、此ノ再教育ト云フコトヲ十分ニ實施シテハッキリシタ教育者ノ建前ヲ養成サセタイト存ジテ居リマス、又一面ニ於キマシテハソレ以上ノ學校ニ於テ持ツテ居リマスル所謂大學ノ教育ト云フモノノ思想内容ナドヲ十分ニ考究調査致シマシテ、其ノ是正ヲ求メルナリ、是正ヲ求メテ是正ノ出來ナイヤウナ場合ニハ又適當ノ處置ヲ講ズベキデアラウト考ヘマスガ、思想ヲ自己ノ生活ニ依ツテ國體ノ本義ニ則ラシムルト云フ方針ニ向ツテ極力邁進シタイト存ジテ居ルノデゴザイマス、具體的ナ個々ノ問題ニ付キマシテハ色々々ノ施設、方策ナドモ講ジテ居リマスケレドモ、ナカノノ程ノ幣風ガ浸潤シテ居ル場合モアリマスノデ、我々文教ノ府ニ當ル者ハ此ノ今日下全國ニ國民的自覺ノ燃エ上ツテ居ル此ノ時

期ヲ逸スルコトナク、眞ニ數學ノ刷新ヲ實現シタ伊ド深ク心ニ期シテ居ル次第ゴザイマス、マア大體申上ゲタイト思ヒマス一應ノ心構へハ其ノヤウナモノデゴザイマシテ、又御質問ガアリマシタラ御答辯申上ゲマス

○山岡萬之助君　只今御説明ニ相成リマシタ點ハ從來ドノ方面モ對立デ社會ガ構成サレテ居ツタノデアリマスカラ、教育ノ場所ニ於キマシテモ、自然ト教師ト生徒、教授ト學生ト對立關係ニアッタコトハ只今仰セノ通リデアリマス、ソレガ所謂協力一體トナルコトガ新體制デアルト云フ御説明ガアリマス、此ノ根本ヨリ出デテ段々御説明ガアリマシタ、學生ニモ自ラ自覺セシメ、サウシテ教員ニ付テモ左様ニシテ、要ハ國體ヲ徹底セシメルト云フ御方針ニ付キマシテヘ、頗ル同感ノ意ヲ表サザルフ得ナイノデアリマス、最後ノ御言葉ニアリマシタヤウニ、實際其ノ學生、生徒ハ是カラ教ヘラレル者デアリマスガ、教ヘル人ヲソコヘ持ツテ行クト云フコトハ、是ハ頗ル難事デアリマシテ、相當御苦心ニナツタコト考ヘマス、ソコデ高等學校以下ノ教員等ニ付キマシテハ、再教育ヲスルト云フコトデ自然色々方法ヲ御講ジニナルト思ヒマスガ、大學教授ノ思想ヲ調査スル、ドウモ大學教授ヲ再教育スルト云フコトハ、是ハナカノムカセザルモノハ之ヲ改メル、從來此ノ點力ラ共產思想ト云フモノハ我ガ國ニ傳播シタノデアリマス、之ヲ具體的ニ申上ゲル必要モアリマセヌケレドモ、最高學府ノ教授ガ、社會ヲ改革スルノハ「テロ」デナケレバイカ

（ト云フコトヲ、教壇ノ上カラ説イテ居ル、ソレガ爲ニ、ソレヲ聽イタ者ハ非常ニ考へ方ガ違ツテ來ル、又ソレガ雑誌ニ出テ、ソレヲ讀ンダ學生ハ不逞ノ犯罪ヲ起シタト云フノガ事實デアリマス、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、今仰セノヤウニ國民學校ヲ立派ニシテ行クコトハ、勿論一貫シテ立派ニシテ行クト云フ御趣旨ハ誠ニ結構デアリマスガ、差向キノ問題ハ何ト云ツテモ今ヤ社會ニ出ル所ノ學生ヲ教ヘル専門學校以上大學ノ教授ノ思想ヲ改メシムル、而シテ改メザレバ今仰セノヤウニ處置スル、之ヲヤリマセヌト云フト、早速ノ間ニ合ハナイ譯デアリマス、ソコニ御苦心ノ程ガアルト思ヒマスガ、ドウ云フ風ナコトデ思想ヲ調査シソレヲ處斷セラレルト云フコトデアリマスルカ、モウ少シ具體的ニ其ノ點ダケヲ承リタイ

○山隈萬之助君 是デ終リマンシタ
○山隈康君 文部省ニ對スルノヂヤナイノ
デアリマスガ、此ノ機會ニ質問ヲ申上ゲテ
宜シウゴザイマセウカ
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ドウデアリマ
セウカ、一應文部省ニ對スル御質問ヲ續ケ
テ戴キマシテ、ソレカラ他ノ部分ニ御移リ
願ツタ方ガ質問ガ單純化シテ宜シイノデハ
ゴザイマセヌカ、或ハ文部省ニ對シテ祕密
會ヲ御要求ニナレバ其ノ際祕密會ニシテモ
チットモ差支ゴザイマセヌ
○子爵岡部長景君 私ハ祕密會ナイトニ
質問シタイト思ヒマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ドウゾ
○子爵岡部長景君 司法省ノ方デ治安維持
法改正ノ必要ノ理由ノ補足トシテ、色々斯
ウ云フ思想犯ノ状況等ニ付テ詳シク御説明
ヲ伺ツタノデアリマスガ、私ハ其ノ時ニモ質
問ヲシタノデアリマスケレドモ、結局此ノ
思想犯ニ觸レルヤウナ者ハ是ハ最モ惡質ナ
者デアル、病毒ノ深ク浸潤シテ居ル者デア
ル、是ハ處斷シテ見タ處デ、果シテ改善ス
ルカ否カ分ラナイヤウナ程度ノ者デアルト
思フノデアリマス、轉向スルコトハ結構ナ
コトデアリマスケレドモ、或ハ偽裝轉向或
ハ非轉向トナツタ者ハ相當數多イト思ヒマ
スガ、併シ斯ウ云フ日本ノ國體カラ考ヘテ
アリ得ベカラザルヤウナ罪人ガ澤山出ル、
是ハ根本ニ於テ非常ニ間違ツタ方針デ、長
スル譯デアリマスカ

イ間、殆ド明治以來培ハレテ來タ所ノ思想
傾向ト云フモノガ溫床ニナシテ、ソコノ間ニ
サウ云フ恐ルベキ者ガ生レテ來ルモノト思
フ、此ノ恐ルベキ検舉數ト云フモノハ何百
何千ト云フ程度デアリマセウケレドモ、之
ニ感染スル可能性ノアル者ハ是ハ何倍、何
十倍、何百倍カノ人間デハナカラウカ、又
更ニ感染スル可能性ト迄ハ行カナイ迄モ、
更ニ其ノ程度ニ入り得ル可能性ノアルヤウ
ニ感染スル可能性ノアル者ハ是ハ何倍、何
十倍、何百倍カノ人間デハナカラウカ、又
本人タル自覺、信念ノ足ラザル、國體ノ本
義ニ即セザル思想ヲ抱クヤウナ傾向ニアル
ナ思想傾向ノ者、詰リ大臣ノ仰シヤッタ日
シタ認識ヲ有シテ居ラナイヤウナ者ガ大多
數デアルト云シテモ宜イノデヤナカラウカ、
左様ニ私ハ思フノデアリマスガ、サウ云フ
風ナ傾向ニアルカラ、段々ニ其ノ中カラ極
端ナ者ガ生レテ來ルト思フノデアシテ、此ノ
日本ニ於テ斯ウ云フ不穏ノ者ガ生レルト云
フコトハ根本ニ間違ガアルカラデ、根本方
間違シテ居ラナケレバ日本デハ斯ウ云フヤ
カマシイ法律デ以テ取締ラナケレバナラナ
イ程ノ人數ガ、集團的ノ運動ヲ起スヤウナ
コトハ考ヘラレナイコトデアルト思フ、ソ
レデ私ハ之等ノ根本ノ原因ト云フモノニ
付テ深ク考ヲ廻ラシ考究ヲシ、又ソレニ對
シテハ周密ナ研究、又處置フシテ行カナケ
レバ、此ノ日本全體ヲ風靡シテ居ル所ノ
モ、全體ノ思想傾向カラ見レバ、私ハ唯惡
化ノ一途ヲ辿シテ居ルノデハナカラウカ
ト云シテ宜イグラウト思ヒマス、ソレニハ
是ハ必ズシモ思想トカ人文科學トカ政治ト

カ哲學トガ云フヤウナ方面、或ハ實際生活ニ入ッテ經濟問題ト云ツタヤウナ方面ニ努力スルバカリデハナク、自然科學ノ方面ニ於テモ非常ニ思想ト云フモノハ憂慮スベキモノガアルデハナカラウカ、所謂學問ニ國境ナシト云フコトナドハ、自然科學者ノ方面力ラ言ハレル思想デアツテ、學問ニハ國境ハナイカモ知レマセヌケレドモ、學者ニハ國境ガアリ、國籍ガアル、又學問ト雖、自然科學ト雖國境ヲ超越シタモノバカリデハナイ、國境ノ中ニ於テ發達サセナケレバナラヌモノガ澤山アルノデアリマス、寧ロ自然科學者ト云フモノハ、斯ウ云フヤウナ人文ヲ離レテ自然現象ヲ對象トシテ研究サレルグケニ、非常ニ國際觀念、國際思想ニ、少クトモ學問ニ於テ殆ド國際的主義ニナッテ居ルト云フヤウナ傾向ガアリハシナイカト思フノデアリマス、學問ト思想ト云フモノノケジニ付テハ觸レテ居ナイ、特ニ是等ノ先生ガ外國デ色々勉強サレル場合ニハ國際主義者、或ハ「ユダヤ」人ナドノ先輩ニ依ツテ教ヘラレ、導カレルノデアリマスカラ益、サウ云フ思想ガ不知不識ノ裡ニ植へ付ラレテ居ルト云フコトモ、大ニ考ヘナケレバナラヌ問題ダト思フノデゴザイマスガ、ソコ等ニモ私ハ非常ニ思想ヲ惡化サセル一ツノ病根ガアルノデハナカラウカ、サウ云フコトニ付テノ檢討モ非常ニマダ足ライト思フ、五箇條ノ御誓文ニ「智識ヲ世界ニ求メ、大ニ皇基ヲ振起スベシ」ト云フ一箇條ガアル、之ヲ履キ達ヘテ居ルカラ今日ミタヤウニナツテシマックタノデアル、又今後益々恐るべキ傾向ニ向ツテニハ何ト言ツテモ教育ノ根本カラ立直シテ行キ、又モウ既ニ成長シテシマツタト云フ

人間ニ對シテ所謂教化啓發ト云々タヤウナコト、所謂社會教育ヲ行フト云フコトモ必
要デアリマセウガ、少クトモ教育ト云フモルノデアリマス、外國人ニハ信仰、宗教ノ
ニ自覺的ニ、信念的ニ持チ得ルヤウニ致シテ行カナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居
ルノデアリマス、外國人ニハ信仰、宗教ノ
信仰ト云フコトガ相當矢張リ小サナ時分カラ
習慣付ケラレテ居リマスカラ、非常ニ其
ノ點ハ日本ト事情が違ヒマスケレドモ、日
本ニ於テモ却ツテ大衆ノ方面ニ於テハ或ハ
迷信ト言ハレルカモ知レマセヌガ、一種ノ
信仰ガアツテ、小サナ時分ニハ或ハ御宮詣り
スルトカ、或ハ神佛ニ御詣リスルトカ、色々
ナコトガ却ツテアルノデアリマスガ、處ガ
「インテリ」層、知識階級ト云フモノニ寧ロ
信仰ガナクテ徒ニ智的ニ走ル、知識ト云フ
モノダケデ人間ハ總テ完備サレルト云フヤ
ウナ心持ニナツテ信仰ヲ等閑ニ附スルト云フ
風ガ多イト思フノデアリマシテ、國體觀念、
國體ノ本義ニ徹シテ日本人タルノ自覺信念
ヲ持ツト云フコトハ、是ハ教育ダケチヤ出
來ナイ問題デハナカラウトサヘ思ハレルノ
デアリマス、所謂信仰的ナ氣持ニハモウ小
サナ時分カラ、赤ん坊ノ三十日ノ御宮詣リ
カラ初マツテ、始終御宮ニ詣リ、神佛ニ詣
ル、或ハソレ等ノ小サイ時カラ有ラユル機
會ニ國體觀念ト云フモノガ、自然々々ニ沁
ミ込ムヤウニナラナケレバ本統ノ自覺的信
念ヲ持ツノハムツカシイデハナカラウカトサ
ヘ思ハレルノデアリマス、而モ今日ノ日本
ノ教育ト云フモノハ、サウ云フコトハ一向
致サナイデ、兎角智的教育ト云フコトニ殆
ド全能力ヲ傾倒サレテ居ルノデアツテ、自然、
人文ト云フヤウナコトガ只智的ナコトニナツ

テシマツデ、サウ云フヤウナモノガ一般ノ風ヲ爲シテ居リマスカラ、自然其處ノ中ニ矯激ナモノガ生レテ來ルト云フヤウナ譯デ、非常ニ矯激ノ思想ノ出テ來ルノニ都合ノ宜イヤウナ……國體ハ決シテサウデハナイノデアリマスケレドモ、教育ナリ、社會ナリノ風潮ト云フモハ、サウ云フモノニ根ヲ下ロシ易イヤウナ狀況ニナッテ居ル、是ニハ私ハ寧ロ極端ニ言ヘバ明治ノ教育ガ根本的ニ間違ッテ居ルト思フ、ソレハ固ヨリ明治ニハ文化科學等ニ付テ外國ト比較シマスト、非常ニ劣シテ居ツタノデアリマスカラ、早ク除カナケレバナラスト云フ必要モアリ、又其ノ希望モアッテ、矢鱈ニ西洋ノモノヲ取入レルニ沒頭シテ居ツテ、今御話ノ通り西洋文化ニ眩惑、陶醉シテ居ツタト云フコトハ爭ハレナイ事實デアリ、又日本ノ急激ナル進歩モ是ニ依シテ出來タニハ達ヒナインデアリマスケレドモ、一方ニハソレガ進歩シタ、ケニ、一方ニハ日本ノ信念の自覺ト云フモノハ段々ニ薄ライデシマツタト云フコトニナルノデハナカラウカ、ソレデ今日相當ニ年輩ノ方ニハ自然ノ中ニ不知不識ニ小サイ時分カラサウ云フ環境ニ育チ、日本人タル自覺ト云フモノヲ持テ居ラレルノデアリマスケレドモ、矢張リ年ノ若イモノニナルニ從ツテ段々ニ社會ニサウ云フモノガ減ツテ來ル、サウ云フ環境ニ育ツタ、ケニ心持ガ自然ニ國體ノ本義ト云フヤウナコトガ身ニ泌ミテ居ナイ、従ツテ此ノ外國ノモノニ陶醉シテ、外國ノモノニカブレル、感化サレルト云フ危險ガ益、殖エテ來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレニ私ハ何ト云ツテモ外國ノ模倣ト云フコトガ恐ハイ、日本ノ今日ノ思想ガ悪化シテ居ル一ツノ大キナ原因ヲ爲シテ居ルノデハナカラ

ウカ、模倣ト云フコトガ若シモ科學的ニ、
或ハ其ノ他ノ總テノ點ニ於テ事實劣シテ居
ナケレバ、ソレハ外國ヲ模倣スル必要モ無
論ナイ譯デアリマスケレドモ、結局客觀的
ニ見テ劣ル點ガアルカラ、矢張リ模倣スル
必要モアリ、又外國ノモノヲ崇拜スルヤウ
ナ氣持ニナルノデアリマスガ、一方ニ於テ
ハ外國ト比較シテ劣ラナイモノヲ日本自身
ガ作リ上ゲテ行カナケレバナラヌノデハ
カラウ、大臣モ始終言ッテ居ラレルヤウニ科
學振興ト云フヤウナコトハ是ハ絶對ニ必要
ナコトト私ハ考ヘルノデアリマスガ、唯科
學ノ振興ノ爲ニ外國ノ唯眞似ヲシテ外國ニ
追ヒツイテ行クト云フヤウナサウ云フ依存
心デナク、矢張リ獨自ノ努力ニ依ッテ外國ヨ
リモ秀レタモノヲ作リ出スト云フ國民ノ意
氣ヲ持チ、又ソレダケノ努力ヲ拂ヒ、眞劍
ニ考ヘテ行カナケレバナラヌノデハナカラ
ウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、
ドウモ其ノ點ニ付テ非常ニ今日ノ教育ト云
フモノハ、マダ私カラ見マスト、其ノ理想
ニハ遠イノデハナカラウカ、從ツテ國民ハド
ウシテモ外國ニハ敵ハナイ、外國ニ學ブ、
外國ヲ模倣スルト云フヤウナ精神ヲ脱却シ
得ナイノデ、從ツテ思想的ニ言ヒマシテモ、
矢張リ外國ノ新シイ思想ニ觸レルト何トナ
シニソレニカブル、ソレガ矢張リ日本ノ
國情ニ合ハウガ、合フマイガ、ソレ等ニ付テ此
ノ英美等ニ於テハ、或委員ノ御質問ニモア
リマシタガ、國情問題ニ對シテモ割合ニ緩
慢デアル、ヤル者ニハ勝手ニヤラシテ置ク、
モノト思フノデアリマス、ソレ等ニ付テ此
併シ國民ハ是ニ對シテ冷靜ナ批判ノ眼ヲ

以て見テ居ル、國體ヲ變革スルト云フヤウ
ナ運動ガ起ルトハ考ヘラレナイ、寧ロ却テ
國民ノ程度ガ低ケレベ、サウ云フモノニ對
シテ何等惧ル、コトハナイケレドモ、「フラ
ンス」トカ「スペイン」トカ云フヤウナ國民
ノ批判力ノ低イ所ヘハサウ云フ、病毒ガ入ッ
テ來テ、從ツテ國家ガ「ツニ分レテ、今度ノ
戰爭ニ於テ悲慘ナ結果ニ陥ツタト云フヤウ
ナ御意見、御質問モアリマシタケレドモ、
其ノ通リト思フノデアリマス、矢張リ國民
ノ見識ガ高ケレバ、外國ノモノヲ批判的ニ
見テ居ル、又其ノ長所ヲコチラニ取入レテ
益、コチラヲ肥ヤシテ行クト云フヤウナ程
度ニ、教育ノ方向ヲ進メテ行ケバ、心配ハ
ナイト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ於
テ日本人ハ國民ノ常識ガ、斯ウ云フ極端ナ
思想ヲ受ケ入レル極端ナモノガ其處迄行ク
ヤウニ全體ノ空氣ニナツテ居ルノデハナカラウカ
ト私ハ始終考ヘテ居リ、ソレ等ノ教育ノ實
際カラ見テモ、憂慮スベキモノガ澤山ア
ル、今度ノ國民學校ノコトニ付テモ、仄聞
スル所ニ依ルト、マダ〈病根ハ根本的ニ
ハ殆ド治サレテ居ラナイノデハ、ナカラウ
カ、從ツテ今日此ノ方針ニ教育ヲ段々ニ施
サレ、日本人トシテノ自覺ト云フヤウナモ
ノガ、社會的ニ段々薄イデ行キツ、アル所
ニ育ツテ居ル青年ガ、將來國民ヲ背負フ
ヤウナ時ニナツテ來タナラバ、其ノ危險ハ益
激シクナルノデハナカラウカト云フヤウナ
コトハ、私ハ是ハ杞憂デハナイト思フノデ
アリマス、ソレニ付テ具體的ノ問題モ色々
申上ゲタイコトモアリマスルケレドモ、細

置カウト思ヒマスルカラ、一應ソレハ差控ヘテ
ウナ點ニ付テ、若シ現ニ相當ノ年齢ノ方々
ガ考ヘラレテヤラレルノト、其ノ考ヘラレ
タ案ニ依ツテ若イ者ガ、小サイ七ツ頃カラ教
育セラレテ、サウシテ段々頭ガ出来テ來ル
モノニ、昔ナガラノ國情ニ育ツテ來タノデ
アリマスルカラ、サウ云フ心配ハナイガ、
ドウモ今日ノ環境ノ中ニ育ツテ來タ者、今日
ノ教育ノ方針ニ依ツテ育ッテ來タ者ハ智的ニ
ハ相當ノコトハ出來マセウケレドモ、信念
的ニハシツカリシタ者ガ出來ナイノデハナ
カラウカト云フコトヲ、私ハ深ク憂慮スル
者、アリマスガ、文部御當局ニ於テ今申上
ゲタヤウナ、私ノ意見ト云ヒマスカ、意見
ヲ述べテ當局ノ之ニ對スル御見解、ソレノ
対策ニ付テ、ドウ云フヤウナ御用意ガアル
カト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

ノ方向ニ向ヒテ居ルコトハ、是ハ確かダト
思フノデアリマス、其ノ點ニ於キマシテ、
私ハ日本人ト云フモノヲ深ク信賴シテ居ル
ノデゴザイマス、是ハドウシテモ仕様ガナ
イモノダト云フヤウナコトハ、決シテ考ヘ
テハナラナイモノデアル、陛下ノ赤子ト
シテ生レ、此ノ國ニ生レタモノハ、必ず方
法ニ依ツテハ日本人タルノ自覺ヲ必ず得ル
モノデアルト云フ信念ノ下ニ教育スペキモ
ノト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ
實際ノ問題ト致シマシテ先程カラモ申シマ
ス通リ其ノ信念ヘノ到達ガ甚ダ不十分デア
ルコトヲ遺憾トスルモノデゴザイマス、併
シ仰セノ通り自然科學ニ關係シテ居ル者ニ
於テ殊ニ自己ノ對象トシテ居ル學問ガ一應
客觀的ナ學問デアルト云フニヤウニ見ラレル
ガ故ニ、先程ノ御話ノ通りニ國際性ト云フ
方面ダケヲ強調シマシテ、自己ガ日本人ト
シテ何ヲ持ツテ居ルカト云フコトニ付テノ反
省ヲ持ツ機會ヲ動モスレバ失ツテ居ルト云
フコトニ於キマシテハ、モウ野ニアリマス
時以來甚ダ遺憾ニ存ジテ、其ノ點モ是非共
は正シタイト思ツテ、色々マズイ内容ヲ持
チナガラモ至ル所ニ鼓吹シテ參ッタノデアリ
マスケレドモ、微力甚ダ影響スル所少クゴ
ザイマシテ、今以テ此ノ點ハ甚ダ遺憾ニ思ツ
ニ於キマシテモ、矢張リ日本ノ科學樹立ト
云フコトガ、我々日本人ノヤルベキコトデ
アルトノ自覺ニ漸次向キツツアルノデアリ
マシテ、是ガ最モ大切ト思フノデアリマス
ガ、是ハ確カニ信念的ニ又自己ノ體驗ヲ十
分ニ持ツモノガ道ヲ説イタナラバ、是ハ又

アリマス、唯非常ニ至難ノコトニ属スルコトハ申上ゲル迄モナイト思フノデゴアリマスガ、必ズ出来ルト云フ確信ヲ有ツテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ方面ニ向ツテモ十分ニ努力シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、レ等ノコトニ對シマシテ特別ノ國民性ヲ、私ノ意見ヲ私ノ言葉トシテ申上ゲマスレバ、從來ノ學校教育ニ於キマシテハ、宗教的情操ノ涵養ガ甚ダ疎カニナツテ居ツタト信ズルノデアリマス、一時教育ト宗教トハ全然離サナケレバナラヌ、ソレハ無論所謂宗教ト云フモノト、所謂學校教育ト云フモノトガ殊ニ信教ノ自由ノ許サレテ居リマスル我ガ國ニ於キマシテハ一應分ケナケレバナラナイコトデゴザイマスケレドモ、宗教的情操、隨順スベキハ隨順シ、歡喜スベキハ歡喜スルト云フ心持ハ、是ハ教育ノ上ニ十分ニ養ハナケレバナラヌ、殊ニ子供ノ時カラ植付ケラレナケレバナラヌコトカト存ズルノデアリマスガ、其ノ點ガ缺ケテ居リマシテ、先程カラモ御話ノアッタ通り理知的ニ判断シ批判スルト云フコトノ方ニ教育ガ施サレマシテ、隨順スベキモノニ隨順スル心構ガ、歡喜スベキヲ歡喜シナイト云フ所ニ、我ガ皇國ニ生レテ居リナガラ、生レテ居ルコトノ歡喜ヲ持タナイ、上御一人ニ隨順シ奉ラナケレバナラナイニスギリシタ其ノ氣分ニナレナイト云フコトハ、宗教的情操ト云フモノヲ、宗教ト教育ヲ離サナケレバナラスト云フ建前カラ、餘リニ此ノ方面迄モ無視シテ居ツタト云フコトガ大キナ原因ニナツテ居ルノデハナカラウカト云フヤウナコトモ今考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、十分ニ殊ニ此ノ宗教の情操ハ幼稚ナ間カラ仕

出来マヌノハ、特別ノ機會因縁ガゴザイマセヌトナカ／＼出來難イモノト思フノデアリマシテ、是ハ幼少ノ時カラ十分ニ適當ノ方法ヲ以チマシテ、之ヲ培養スルヤウニ努メナケレバナラヌカト存ジテ居ルノデゴザイマス、其ノヤウナコトト聯關シマシテ、我ガ國體ノ本義ト、所謂歐米的ナ科學ト云モノガ如何ナル聯關ヲ持ツカト云フコトヲ十分ニ考ヘナケレバナラナインデゴザイマスガ、其ノヤウナ論議ヲ此處デ長ク申上ゲルコトハ差控ヘマスケレドモ、科學トシテ發達セシメル根本ノ心構ヘ、唯科學ト云モノヲ科學トシテ眺メルノデナク、科學ト云モノヲ出來上ツタモノヲ取込ムト云フノデナク、科學ト云フモノヲ自ラノ業トシテ發展セシムルト云フ心構ヘハ、我ガ國體ノ本義ト決シテ衝突スルモノノデナイト云フコトハ私共確信シテ居ルノデアリマス、唯其ノ點ニ付テモ亦今ノ自然科學者ニ於テ恐ラク自己ノ反省ノ足リナイ點デアラウカト思ヒマスガ、十分ニ徹底シテナイコトハ甚ダ是亦遺憾ナコトデアリマシテ、是ハ十分ニ徹底サセナケレバナラヌト思ッテ居ル次第デゴザイマス、其ノ意味ニ於キマシテ、科學ノ振興ト云フコトヲ現下ノ國策トシテ私唱ヘテ居リマスルガ、其ノ科學ト云フノハ、唯客觀的ニ一般妥當性ヲ有ツ國際的ナモノトシテノ科學ヲ取扱フト云フ意味デハ決シテナイノデアリマス、我ガ國ノ科學、日本人ノ營ミトシテ御奉公申上ゲル立場ニシテ御奉公申上ゲルト云フ立前ニ於テ、

科學振興ト云フコトヲ圖ルノデナケレバ是亦從來ノ通リノ模倣ヲ科學ノ實踐ト心得ルヤウナ過チニ陷ルノデゴザイマス、其ノ意味ニ於キマシテ、私ノ今考ヘテ居リマス教學ニ徹底シテ迄、皆考ヘテ居ルカ、理解サレタカドウカハ存ジマセヌケレドモ、其ノ方針ノ下ニ科學ヲ振興セシメテ、日本ノ科學ヲ作り上ゲルト云フコトヲ心得テ進マナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第ゴザイマス、殊ニ其ノヤウナ理念的ナ問題ヲ考ヘテ居リマシタダケデソレガ實現スル譯ノモノデハナイノデゴザイマスガ、其ノ際ニ無論學校教育其ノモノニ於テ、教育ニ携ル者ガ其ノヤウナ心構ヘヲ持ツコトハ是非共必要デアリマスケレドモ、今他面ニ於テ苦慮致シテ居リマス事柄ハ、先程カラ仰ゼノ通り誤マレタ教育ニ依ッテ、誤マッタ思想ヲ持ツテ居ル者ガ今社會ノ中ニ相當澤山アツテ、而モソレガ謂ハバ活動ノ中堅的ノ位置ニ居ルト云フコトガ茲ニアリマシテ、若イ者ガ折角或方針ノ下ニ育テラレテ直グ出テ行ッテモ、自分ト最モ接近スル先輩ト云フモノノ影響ト云フモノハ實ニ絶大ナルモノガアル、其ノ影響ニ依ッテ色々動カサレテ居ルト云フコトモ事實問題トシテゴザイマシテ、其ノ邊ノ所ヲ社會一般ノ問題トシテ、國民一般ガ十分ニ念頭ニ置イテ、新ラシク例ヘバ學校ヲ出テ社會ニ入ル者ニ對シテノ指導ト云フモノハ十分ニ考ヘテ行キタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、又從來ハテ置ケバ宜イ、學校ニヤリサヘスレバ、家デハチットモ構ハナイデ宜イト云フ氣持ガ

アツタ、尤モ小學校ノ時代ニハ色々ト先ノ學校へ入ル準備ノ爲ト云フヤウナ惡イ目的ノ爲モアリマシタケレドモ、兎ニ角家庭ニ於テ十分ニ學校ト連絡スルト云フ所ガ相當アルト云フト、是ハウツチヤラカシテ置イテモ學校デヤツテ吳レル、無論學校ニ於ケル全責任ハ學校ニ於テ有タナケレバナラズ、又社會ニ於ケル其ノ活動モ十分ニ留意シナケレバナリマセヌガ、家庭ニ於テモ學校ト能ク協調シテ十分ニ教育ノ實ヲ擧ゲテ貰フヤウナ心構ヘラ今、父兄ガ持ツテ吳レマセヌト云フト、マア半分以上ハ壞サレルト云フヤウナコトモアリ得ルト考ヘマスノデ、是ハ又社會教育ノ方面ニ於キマシテノ問題デアリマスガ、其ノヤウナ點ニ付キマシテモ、殊ニ今後家庭ト云フモノノ教育、家庭的ナモノガ如何ニ教育ト云フ場面ニ協力シナケレバナラヌト云フコトニ付テモ、何カ今色々下案ヲ講ジツ、アルノデアリマシテ、適當ニ思フ通リニ行キマセヌデモ、幾分ナリデモ其ノ方面へ社會ガ氣付イテ吳レルコトヲ要望シテ居ル次第デゴザイマス、又外國カラ聞違ツタ思想ガ入ツテ來ル、其ノ時ニ歐米ノ人ナドガ殊ニソレヲ批判的ニ眺メテ勝手ナコトヲ言ハシテ、勝手ナコトヲヤラシテ置ク、自分で眺メテ居ツテ實行サスルヨリ仕方ガナイ、斯ウ云フコトノ見エルノハ、是ハ「インテリ」ト云フモノニ最モ潛行シテ居ルカトモ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、併シソレハ外國ニ於テ許サレルコトデアツテ、我ガ國ニ於テハ其ノヤウナコトハ許サレナイト云フ建前ガ一方アルト存ズルノデアリマス、ソレハ外國ニ於テハ私ノ考デハ眞ノ國體ト云フモノヲ持タナイ、眞ノ國

體ト云フモノヲ持タナイ所デハ、ソレガドモ腰
ウナツテモ一向差支ナイト云フ心構ガ皆ノ
腹ノ中ニアリハシナイカト、推測デアリマス
スケレドモ、無意識ノ中デモサウ云フ心構
ガアリマスレバ、何ガ入ッテ來ヨウトモ腰
手ニシテ置ケバ宜イ、右ノモノガ左ニナツタ
ノダト云フダケデ話ガ済ム、デアリマスガ、
ハ絶對ニナラナイノデアリマスカラ、是ハ
傍観シテ批判ヲ漏フシテ勝手ナコトヲ言ハ
シテ置イテソレデ濟ムト云フコトデ、ドウ
ナツテモ宜イト云フヤウナ氣分ガ其ノ間ニ
釀サレルコトデアツタナラバ、絶對ニ是ハ避
ケナケレバナラヌノデアリマシテ、非常ニ
外國ノ者カラ見レバ、何ガ故ニ日本人ハア
ノヤウニ神經ヲ過敏ニシテ、左傾思想問題
ヲヤカマシク言フノカト云フ批評ヲ受ケル
カモ知レマセヌケレドモ、ソレハ外國人ノア
ナラヌ問題デアルト考ヘテ居ルノデゴザイ
レハ我々ノ立場ニ於キマシテ、殊ニ日本人ノ
ウト何ト言ハウト一向構ハズ行カナケレバ
ナラヌ問題デアルト考ヘテ居ルノデゴザイ
マス、其ノ際ニ於キマシテ、外國ノ文化ガ
非常ナ長所デアリ、短所デアル事柄ハ、已
ヲ空シクシテ物ヲ受取ルト云フコトハ非常
ニ良イコトデアリマスカラ、外國ノ文化ガ
發達致シマシタモノハ續々トシテ容易ク取
込ム、取込ム代リニ又其ノ間ニ溺レルト云
フ傾ガアルノデアリマス、已ヲ空シクスルト
云フコトハ我々ガ實際ニ日本國民トシテ持
タナケレバナラヌ根本的ノ建前デアリマス
ケレドモ、ソレガ十分ナル信念ノ下ニ已ヲ
空シクスルト云フコトガ出來マセヌト弊害
ニ陥ルノデアリマス、是ハ依然トシテ……
言葉ガ元ニ復リマスケレドモ、適當ナル方

策ヲ施シテ、我が國ニ生レタ喜ビ、我方國ニ生レタ者ガ、上御一人ニ隨順シナケレバ、ナラナイ建前、己ヲ空シウシテ隨順スルト云フコトニ、其ノ己ヲ空シクスル所以ノモノヲ能ク理解セシメルコトガ是非共必要デアルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリス、唯從來ノ教育ノ上ニ現レマス弊風ヲ半面ヲ又考ヘテ見マスト、日本人ノ長所デモアル點ガ多々アルノデアリマス、ソレガ間違ッタ方向ニ向ケラレテ居ルト云フ事柄モ十分是正スルト云フコトモ亦同時ニ考ヘテ見ナケレバナラスト考ヘテ居ル次第アリマス、是ハ單ニ考ヘダケヲ申上ゲタヤウデ、甚ダ申譯アリマセヌケレドモ、適當ナ機會ヲ得ル毎ニ適當ナ方策ヲ講ジテ宜シキニ從ツテ出來ルダケ私ノ力ノ及ブ限り、マア甚ダ微力デ何處迄出来ルカ申上ゲラレマセヌケレモド教學ノ刷新ト云フコトニ付テハ邁進致シタイト固ク決心シテ居ル次第アリマス○子爵岡部長景君　只今ノ御意見、御説明ハ私モ至極同感デアリマシテ、先程ノ私ノ質問ノ申上ゲタコトニ付テ、誤解ガアルトイケマセヌカラ……今ノ英米等ニ於テ非常ニ左傾思想ナドガ寛大ニ取扱ハレテ居ルト云フコトハ、決シテ日本ハサウ云フ風ニ寛大ニシロト云フ意味デハナイノデアリマス、今御話ノ通りニ日本トシテハサウ云フコトハ絶對ニ敵スベカラザル思想デアリマス、唯國民が其ノ位ノ常識ヲ持チ、批判力ヲ持ツテ、假令間違ッタモノデアッテモ何等心配スルコトガナイト云フ位ニ、健實ナルモノニシテ置キタイト云フ氣持デアリマシタカラ、其ノ點ハ誤解ハナカラウト思ヒマスケレドモ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ昨日デアリマシタカ、戴イタ教

學局ガ御作リニナツタ「學生生徒左傾ノ原因
調」云フ「祕」ノ字ガ捺シテアリマスガ、大體
拜見シテモ餘リ祕ノ必要モナイヤウニ、寧ロ
色々ノ場合ニ私ハ是ハ大ニ此ノ方針ニ依ツ
テヤツテ戴クコトハ強調シテヤツテ戴イテ
宜イノデヤナイカ、從ツテ我々モ亦斯ウ云フ
ヤウナモノ戴イテ、ソレヲ色々ノ思想ノ問
題ナドニ觸レテ話ヲスル時ニモ、寧ロ引用
シタイト思フヤウナ箇所ニ充チテ居ルヤウ
ニ思フガ、或ハ此ノ中デ左傾文獻ナドノ名
前ナドハ言ハナイ方ガ宜イカモ知レマセヌ
ガ、委員長如何デゴザイマセウカ、是ハ速
記録ニ載セテ戴クコトハ出來マセヌデセウ
カ

ソレカラ傳統習慣ヲ重ンジ國家社會ノ動向ヲ大キク把握理解シ、妄リニ不平不満ヲ訴ヘナイ度量ノ大ノ人物ニハ極端ナ思想ヲ持ツニ至ル者ハ少ナイ、私ハサウアルベキモノ通リ科學ノ進歩發達ト云フコトニ付テ、是ト云フコトガ教育ノ根本、狃ヒ所デナケレバナラヌノデヤナカラウカ、サウシテ今御話ノ通リ科學ノ進歩發達ト云フコトガアッテハ争覇戦ニハ太刀打ガ出來ナインデヤナナイカハ世界ガ今覇ヲ争ツテ居ル争覇戦ノ眞只中デアリマスカラ、日本人ノ科學ト云フモノハ、外國ノ科學ヨリカ劣ルト云フコトガアッテハ争覇戦ニハ太刀打ガ出來ナインデヤナナイカハノ御話ノ通リ日本ノ科學ヲ立派ナモノニ打建テ、行ク、外國ニ負ケナイ所デヤナイ、外國ヨリ優レタモノヲ作ルト云フ意氣込デ行カナケレバナラヌデヤナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ性格ノ方カラ申シマスト、茲ニアルヤウナ性格ノ人間ヲ作ツテ行クト云フコトガ、是ハ學校行カナケレバナラヌデヤナカラウカト云フ十分ノ連絡ヲ取ツテヤツテ行カナケレバナラヌト思フノデスガ、是等ニ付テドウモ文部省ノヤツテ居ラレルコトガ、父母師長ヲ尊敬シ信賴スルト云フヤウナコトハ修身デ教ヘラレマスケレドモ、必ズシモサウ行ツテ居ラナイ、又傳統、習慣ヲ重ンズルト云フヤウナ氣分モ私ハ必ズシモ養成サレテ居ラナイノデヤナイカ、寧ロ矢張リ外國ノ習慣ナドニ懂レルト云ツタヤウナ氣持ガ相當多イヤウニ思ハレルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テハ矢張リ細カイ所カラ當局ガ細心ノ注意ヲ以テ教育ノ中ニ折込マレナイト、唯修業アタリニ折込ンデ教ヘラレルト云フヤウナコトデハ、サウ云フヤウナコトハ能ク憶エ

セヌケレドモ、時間ガ掛リマスカラ、一應
御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○國務大臣（橋田邦彦君） 御趣旨ノアル所
能ク諒承致シマシタ、色々又外國語ノ問題或
ハ度量衡ノ問題ナドニシマシテモ、十分ニ
利用スルト云フ立場ニ立ッテ、教育スルノ
ガ、是ガ本來ノ目的デアラウト思フ、外國
ノ科學ナドヲ入レマスニモ我々ガソレヲ利
用シテ我々ハモット立派ナモノニシヨウト
云フノガ目的デアッタ筈デアリマシテ、ソ
レニ依ツテ唯徒ニ彼ノ國ヲ崇拜スルト云フ
コトニナツテハナラナカッタノガ、サウ云フ
傾向ニナツテ居ルノデゴザイマス、例ヘバ
度量衡ノ方ニ致シマシテモ、非常ニ便利ナ
コトモアルト存ジマス、軍隊ニ於テモソレ
ヲ用ヒテ一向差支ヘナクヤツテ居ルノデアリ
マシテ、取合セ方、教ヘ方ト云フモノガ餘
程注意ヲ要スルコトハ無論デアリマス、ソレ
ヲ唯外國ノモノヲ取入レテ我ガ國ノモノヲ
排除スルト云フ氣持ニナルヤウナ教ヘ方ヲ
スルコトハ、イケナイコトハ申スマデモナ
イノデアリマス、英語ノ方ハ立派ナモノデ
アツテ日本ノ國語ハ混ギモノダト云フヤウ
ニ英語ヲ寧ロ教ヘルト云フモノガアッタラ
ベ、是ハ飛ンデモナイ間違ヒデアルコトハ
申スマデモナイコトデアリマス、能ク教育
スルモノガ、利用スルト云フコトト、必要
デアルト云フコトト、又ソレガ優レデ居ルヤ
ト云フヤウニ考ヘ間違ラシナイヤウニ是ハ
サセテ行カナケレバナラスト考ヘテ居ルヤ
ウナ次第デゴザイマス

極同感デ、サウアリタイト思フノデアリマス、然ルニ今日ノ教育ノ實際ト云フモノハ、大臣ガ今仰シヤッタコトハ稍、反對ナ行キ方、重點ノ置キ方ガ逆ニナツテ居ルト私ハ思ツテ居リマス、是ハ餘程御考ヘニナツテ、矢張リサウ云フ所ニ國民全體ノ風潮ト云フカ、思想傾向ト云フカ、極端ナモノガ生レテ來ル素地ノ又素地ガ、サウ云フ所ニ築カレツツアルト云フ風ニ信ジテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ根本ガ矢張リ其ネヂヲ少シ改メナイ限リハ、斯ウ云フ病毒ト云フモノハ、如何ニ日本ガ有難イ國體ダト云ツテ居ツテモ、ドウモ外國ニカブレルモノガ益、出テ來ルンデハナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、此ノ法律改正案ハ、幾ラ改正シテ嚴罰ヲ以テ臨ンデ見テモ、根本ガ改マラナイ限リハ、百年河清ヲ待ツヤウナモノデ、百年河清ヲ待ツドコロカ、黃河ノヤウニ大氾濫ヲスルヤウナコトガアッテハ大變デアリマスガ、源ヲ一ツ清メルコトデ、是ハ教育及ビ社會教育啓發ト云フ方面ニ、何ウカ一ツモット根本的ナ御考ヘ方ヲ願ヒタ伊ト思フノデアリマス、又科學ノ振興ニ付キマシテモ、御話ノ通リノコトデ、全然御同感デアリマスガ、今日ノ日本ノ實情ガ其ノ御趣意ニ副シテ居ルカト云ッタラ、マダ非常ニ距離ガアルヤウニ思フノデアリマス、今ノヤウナ日本ノ實情デハ、外國ヨリ優レタモノヲ作り出しシテ行クト云フコトハ到底不可能デアラウト思フ、サウ云フ所カラ自然手ヲ取早ク外國ノモノヲ取入レタガ宜イ、簡單ニ早ク追ヒツケルト云ッタヤウナ氣持ガドウシテモ出テ來ル、是ハ文教ノ府トシテ何カ研究所等ガ小規模ノモノガ出來ルヤウデアリマスルガ、經費ノ問題モアリマスガ、

是ハ國民全體ガモット眞劍ナ氣持ニナツテ、科學ノ振興ヲ圖ルヤウニ、サウンテ外國ノ真似ヲシテ外國ニ追ヒツイタヤウナ氣持ヲ國民ノ常識カラ取去ツテ行クト云フ位ノ、根本的ノ一ツ考ヘ方ヲ以テ臨ンデ戴キタイ、是ハ私ハ治安警察法改正ヨリモモット實際ナル問題デアル、必要ナ問題ダト思フノデアリマス、是ハ希望デアリマスガ、是非一ツノ通リ願ヒタイ、教學ノ一致又刷新ヲ大イニ願ヒタイト思ヒマス、一應是デ私ノ質問ハ打切りマス

○織田萬君 私モ思想問題トハ直接關係ハナイコトデアルカモ知レマセヌガ、教學局カラ御配付ニナリマシタモノデ、左傾ノ思想ニ最モ掛リヤスイモノトシテ最後ニ舉ゲラレテ居リマスモノハ、私ノ見ル所デハ、恐ラクハ現在ノ青年ノ學徒ノ大多數ガ之ニ當ルノデヤナイカト思フ、ソレハ要スルニ

今日迄ノ教育ノ制度、學校ノ系統ト云フヤウナモノニ付テ深ク研究サレナカッタ結果ガ、ココニ來テ居ルノデヤナイカト思フスルガ、私ハ豫ネテ日本ハ高等ノ教育ニ中ノデアリマスガ、餘り抽象的ナコトヲ申上

ゲテハ何デスカラ、極ク簡単ニ申上ゲマスルガ、私ハ豫ネテ日本ハ高等ノ教育ニ中ノデアリマスガ、餘り抽象的ナコトヲ言ッテ居ル、總テ日本人ハ家庭庭モ又政府モ高等

ノ教育ヲ授ケテヤレバ、立派ナ人間ガ出来ルンダト云フ風ニ考ヘテ、非常ニ教育

ノ制度ガ「ドイツ」ノ大學ヲ手本トシテ今日ノ大學制度ガ出來タト云フコトガ今日ノヤウニナツテ居ルノデアル、ソレデ第一大

學ノ制度ガ「ドイツ」ノ大學ヲ手本トシテ

ノ程度ヲ高メテ來タト云フコトガ今日ノヤウニナツテ居ルノデアル、ソレデ第一大

學ノ制度ガ「ドイツ」ノ大學ヲ手本トシテ

ノ程度ヲ高メルト云フコトト、二ツノ目的ヲ備ヘ

テモ宜イノデアリマスガ、ドチラカト云フ

分シタ方ガ宜ク、ハナイカ、ソレハ同ジ人ガ研

究ト授業ト云フコトヲ兼ネ得ル人ハ、兼ネ

ト、非常ニ研究心ハアルガ、教ヘル方ハ駄目ダ、殊ニ思想ナント云フモノハ、アノ人間ハ少シ怪シイナント云フ人間ガアルカモ知レスケレドモ、研究性ト云フコトニ付テハ、其ノ人間デナケレバハイカスト云フコトモアリマス、研究ト授業ト云フモノヲ初メ

ヨウト云フノガドレダケアラウカト云フト、是ハ百人ノ中アルカナイカ、千人ノ中

一人アルカナイカト云フ位ノモノデ、後ハ皆職業ヲ求メル爲學問シテ居ル、其ノ大學

ト出テ研究的スル者ハ大學院ニ入ッテ研究スルノデスガ、ソレハ極ク少數デ、後ハ皆迄入ルニハ、甚ダシ例ハ祖先以來ノ財產迄拋ツテシマッテ、ソレヲ學資ニシテ大學ヲ出レバ、何カ偉イ者ニナルグラウト云フコトデ、今日學ンデ居ル者ガ多イ、現ニ大學

ヲ出テ研究的スル者ハ大學院ニ入ッテ研究スルノデスガ、ソレハ極ク少數デ、後ハ皆迄入ルニハ、甚ダシ例ハ祖先以來ノ財產迄拋ツテシマッテ、ソレヲ學資ニシテ大學ヲ出レバ、何カ偉イ者ニナルグラウト云フコトデ、今日學ンデ居ル者ガ多イ、現ニ大學

校ノ學生ニハ最モ之ガ多イト云フノハ此ノ社會ニ餘リ宜イ地位ニ居ルノデナクテ、コニ掲ゲテアリマス 第二ニ當ルヤウナ人間ガ多クテ、第三ニ當ル人間ガ高等學校ニ澤山入ッテ居ル、サウシテ殊ニ思想ナドニ付テハ、サウ云フ高等學校ノ時代ガ最モ熱心ニ研究ヲシヤスイ時デアリマス、又感受性モ強イノデアル、ソレデ高等學校デドウモ思想ガ悪化スルヤウナコトハ、是ハ寧ロ學校其ノモノガサウ云フ危險ニ暴サレテ居ルト私ハ思フノデアリマス、デスカラサウ云フモノヲ除シテシマッテ、中學校卒業カラ直グニ專門學校ニ入レル、殊ニ思想問題專門教育ヲスル場合、此ノ思想問題迄國家ガ頭ヲ痛メルト云フノデハ本當ノ國民ハ出來モノデハナイ、國民學校及ビ中等程度ノ普通學校ニ於テ、モウシッカリ人間ヲ作り上ゲテ、サウシテ專門ノ技術ヲ學ブト云フコトニナツテ、始メテ茲ニ人間モ出來、又高度豫テカラ思シテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ唯私ノ考デ、當局ニ御参考ニ申上デルニ過ギナノデアリマスケレドモ、思想問題ニ關聯シテ、兎ニ角今ノ教育制度、殊ニ學校ノ系統ト云フモノハ、十分ニ御研究ニナラナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス

○國務大臣(橋田邦彦君) 學校教育ノ體系又組織等ニ付キマシテハ、非常ニ考慮シナケレバナラヌ點ガ澤山アルノデゴザイマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、實ハ豫算總會ノ際ニモ御質問ニ應ジマシテ、既ニ御返答申上ゲテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、出來ルダケ短イ時間ニ日本ノ國民ノ「レベ

ル」ヲ下ゲナナイデ、人物ヲ養成シテ行クト云フコトガ、理想デゴザイマスガ、ソレ等ハ教育組織ガ組織デアリマスカラ成シテ居リマセヌ、漸次改メル意味ニ於テ遠クナイ將來ニソレガ實現出來ルヤウニシナケレバナラスト思シテ居リマス、ソコデ例ヘバ是ハ餘計ナコトデゴザイマセウケレドモ、高等學校ヲ過ギナケレバ大學ニ入レナイト云フノハ、大學ガ程度ガ高イノダ、是ハ御說ノ通リダト思ヒマスガ、一面ニ於テハ國民學校カラ中等學校ト云フ學校ノ組織ガ良クナリマシテ、中學校ノ生徒が實際ニ力ガアレバ高等學校ハ要ラナイノダ、斯ウ云フコトニモナリ得ルノデゴザイマスカラ、其ノ間ニ例ヘバ一年ノ簡略ニナルカ、二年ノ簡略ニナルカ、是ハ實情ニ即シテノ問題デアリマスガ、兎モ角初等教育ガ充實致シマスレバ、結局コトハ、全ク御趣旨ノ通リデアリマシテ、十分ニ考慮シナケレバナラヌ問題ダト考ヘテ居リマス

○男爵井田譽楠君 私ハ大體三段ニ分ッテ御尋ヲ申上ゲタイ、只今一般論ニ付テ大臣ノ御話ガアリマシタガ、一般論ハ只今伺ヒマシテ、又祕密會デモ開イテ戴イテ大體ノコトヲ御話ヲ伺ヒタイ、又甚ダ恐縮デアリマスガ、祕密會後ニデモソレ等ノコトニ關聯シマシテ、更ニ部分ニ付テ御伺ヲ致シタイ、大體斯ウ云フ風ニ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、只今御伺ヒ申上ゲタイノハ、最近ノ此ノ新體制問題ニ關聯致シマシテ、愛國陣營ニ於キマシテ……、此ノ區別ヲスル、今日此ノ治安維持法ノ政府ノ御意見トシテ

ト致サレマシテ御出シニナリマシタ何カ御訓令デモアリマセウカ、ソレカラ又ソレニ對シテ各學校ノ今ナシツ、アリマスル施設ノ極メテ概要デ宜シウゴザイマス之ヲ伺ハシテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ第二ハコトデゴザイマセヌ、從來、文部省ニ對シテ何等カ此ノ「マルクス」主義ニ關聯致シマシテ關係ノ學校ノ、關係ト申シマスノハサウ言タヤウナ學問ヲ授ヶテ居リマス官私ノ學校デアリマス、斯様ナ學校ニ對シテ何カ教授上ニ訓令ヲ御出シニナックトガアルヤ否ヤ、アリマスレバ其ノ訓タコトガアルヤ否ヤ、此ノ委員會ノ適當ナ機會デ宜シウゴザイマス、此ノ御研究ニナラセラレル御意向ガアルカ又何等カ文部省ニ於キマシテ、精神文化研究所ト言タヤウナ所デ、斯ウ云フヤウナ學學ニ對スル現時ノ思想上ノ重點ニナルノデハ此ノ法案ニ關シマスル文部省ノ態度ト致シマシテハ、最モ根本的ナモノダト思ヒヤナイカト思ヒマシテ御尋ヲ申上ゲタイ、ソレハ斯ウ云フ問題デアリマス、國體ト「マルクス」主義ノ關係デアリマス、即チ此ノ治安維持法ニ於キマシテ國體ト共產主義、國體ノ上ニ付テ共產主義ト云フモノヲ主ト治セ歷史ノ上カラ觀ル、所謂歷史觀ト云フ「マルクス」主義ノ研究ノ仕方、此ノ連中ハ御案先ヅ其ノ三點ヲ伺ヒタイノデアリマスシウゴザイマス、祕密會ナラザル委員會ノ此處デ直ニ此ノ御答ヲ頂戴スル必要モゴザイマセヌ、此ノ御研究ニナラセラレル御意向ガアルカドウカ、斯フ云フ譯ナノデアリマス、只今席上ニ於テ御發表ヲ願ヒタイノデアリマス、シウゴザイマス、祕密會ナラザル委員會ノミマシテ訓令ヲ從來二三回發シテ居ルト云フヤウニ心得マス、最近ニ至リマシテハ昨年末ニ於キマシテハ、殊ニ大學教授ヲ目指シテ教育者ノ責任ニ關スル件ニ付テノ訓令ヲ發シテ居ルノデアリマス、國體ノ本義ニ則シテ、教育者タルノ自覺ヲ喚起スペシト云フ訓令ヲ發シテ居ルノデアリマス、其ノ次ニ啻ニ大學ノ教授ダケデハゴザイマスセヌガ、一般ニ向シテ、又特ニ大學ノ教授等ニ對シテ、今訓令のニ反省ヲ促シタイト云フコトヲ考慮シテ居ル點ナドモゴザイマスガ、マダ熟シナイ所ガゴザイマシテマダ暫ク考慮

爲ノ訓令ナドヲ、近イ中ニ發シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ第二ノ點ニ於キマシテ「マルクス」主義ニ關スルコトニ付テ文部省カラハ從來、私ノ就任致ス迄發シテ居ナイサウデアリマス、ソレデ私ノ就任以來モ「マルクス」主義其ノモノニ關シテノ訓令ハ出シテ居リマセヌ、デアリマスガ、此ノ新體制申シマスカ、兎ニ角我我ガ新シク臣道實踐ト云フコトノ自覺ヲ喚起シナケレバナラズ、其ノ方ニ向ッテ邁進シヨウトスル此ノ時局ニ際シマシテ、前ニ文部省デ「國體ノ本義」トシテ國體其ノモノノ趣旨ヲ徹底明徴ニスル爲ニ出シマシタヤウナ書物ニ對應シマシテ、實踐面ニ關スル書物ヲ一ツ作り出サウト云フ計畫ヲ以テ、今ヤリツ、アルノデアリマス、ソコデ「國體ノ本義」ト云フ書物ニ現ハレタル所ヲ、自己ニ體得スル建前ニ於テドウスベキカト云フヤウナコトニ付テ、文部省ノ教育ニ於ケルアル所デアリマス、ソレカラ第三ノ問題ニ付キマシテヘ、國體ト「マルクス」主義トノ關係ニ問題ニ付テハ、國民精神文化研究所等ニ於テ幾分研究シタ結果ハアルカト存ジマスガ、此ノ點ヲ此ノ治安維持法等ノ改正ニ伴ヒマシテ、又一面カラ言ヘバ「コミンテルン」等ノ指導ニ對應スル爲ニ十分考究スル必要ハ今仰セノ通リデアラウカト存ジマス、其ノ點ニ付キマシテハ十分下僚ニ或ハ其ノ適當ナル人ト能ク協議又研究致シマシンテ、適當ナル處置ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

○男爵井田磐補君 「マルクス」主義ニ關シテ此ノ表ニ拜見致シマス如クニ、決シテ學部省ト云フ風ニヘ申シマセヌケレドモ、之ニ

生ノ之ニ關聯スル者ノ數ハ減ラナイ、餘り統計ノ上デ斯ウ云フ議論ヲシタクナイノデアリマス、數ガ多イカラ此ノ者ガ非常ニ多イトカ少ナイトカ云フコトハ言ヘナイ、今日ハモウ統計ニ上ニヌデ問題ガ起キテ居ルノデアリマス、有ラユル方面ニ實踐デアル、是ハ統計デ上ラナイ、是ハ社會ノ部面ニ於テ、サウ云フモノガ澤山アルノデアリマス、デアリマスカラ、私ハ數ヲ以テ殖エタトカ減ジタト云シテ喜ブ者デハ決シテナインノデアリマスガ、併シ、是ハアルト云フコトダケハ兎ニ角御互ニ非常ニ心配ナコトデアリマス、是ハ今日ニ始ツタ問題デナイ、偶ニ此處ニ現大臣ガ御出デデアリマスカラ、現大臣ニ向ッテ御尋ラスルコトニナル譯デアリマス、惱ミニ惱ンデ來タ此ノ教學ノ否定的部面、消極的ナ部面デアリマスケレドモ、矢張リ臭イ物ニ蓋ヨシテ置イテ脇デ以テ名香ヲ炷クト云ツタ感ジガアル、一方ニ於テ汚イモノヲ搔キ廻ハシテ置イテ、脇デ名香ヲ炷クト云フヤウナ感ジガアル、アル所デアリマス、ソレカラ第三ノ問題ニ付キマシテヘ、國體ト「マルクス」主義トノ關係ニ問題ニ付テハ、國民精神文化研究所等ニ於テ幾分研究シタ結果ハアルカト存ジマス、小學、中學、高等學校ト段々進ンデ行キ、サウシテ折角良クナツタモノガ、段段上ヘ行ケバ行ク程思想ガ惡クナルト云フコトハ、是ハ敢テ私ガ發明シテ言フコトデハナイ、何處デモ言ハレテ居ルコトデアル、茲ニ大學ノ思想上ノ肅正ヲ言ハレル……、大學生ト申シマスガ、自然科學ヲ除イタ部面ヲ云フノデアリマス、世間デ云フノダト思ヒマスガ、ニモ拘ラズドウモ今迄學問ノ一番心配

居ツタモノト思ヒマス、殊ニ訓令ガ文部省カス、デアリマスカラ、私ハ數ヲ以テ殖エタスルノ如何ニ取扱フカト云フ此ノ取扱方デゴザイマス、何トカ是ハ一つ工夫ヲシテ戴キマセヌト云フト、此ノ拜見致シテ居リマス教職員ノ數ニ於キマシテモ、矢張リ是ハ先程申シタ通り、統計デ役此ハ申シマセヌガ、ナイ濱ノ眞砂デアリマシテ、是ハ教授ヲ罷免シタ後ニ、教授ノ選定ノ方法モアルノト云フ風ニヘ申シマセヌケレドモ、之ニ

居ツタモノト思ヒマス、殊ニ訓令ガ文部省カス、デアリマスカラ、私ハ數ヲ以テ殖エタスルノ如何ニ取扱フカト云フ此ノ取扱方デゴザイマス、何トカ是ハ一つ工夫ヲシテ戴キマセヌト云フト、此ノ拜見致シテ居リマス教職員ノ數ニ於キマシテモ、矢張リ是ハ先程申シタ通り、統計デ役此ハ申シマセヌガ、ナイ濱ノ眞砂デアリマシテ、是ハ教授ヲ罷免シタ後ニ、教授ノ選定ノ方法モアルノト云フ風ニヘ申シマセヌケレドモ、之ニ

居ツタモノト思ヒマス、殊ニ訓令ガ文部省カス、デアリマスカラ、私ハ數ヲ以テ殖エタスルノ如何ニ取扱フカト云フ此ノ取扱方デゴザイマス、何トカ是ハ一つ工夫ヲシテ戴キマセヌト云フト、此ノ拜見致シテ居リマス教職員ノ數ニ於キマシテモ、矢張リ是ハ先程申シタ通り、統計デ役此ハ申シマセヌガ、ナイ濱ノ眞砂デアリマシテ、是ハ教授ヲ罷免シタ後ニ、教授ノ選定ノ方法モアルノト云フ風ニヘ申シマセヌケレドモ、之ニ

居ツタモノト思ヒマス、殊ニ訓令ガ文部省カス、デアリマスカラ、私ハ數ヲ以テ殖エタスルノ如何ニ取扱フカト云フ此ノ取扱方デゴザイマス、何トカ是ハ一つ工夫ヲシテ戴キマセヌト云フト、此ノ拜見致シテ居リマス教職員ノ數ニ於キマシテモ、矢張リ是ハ先程申シタ通り、統計デ役此ハ申シマセヌガ、ナイ濱ノ眞砂デアリマシテ、是ハ教授ヲ罷免シタ後ニ、教授ノ選定ノ方法モアルノト云フ風ニヘ申シマセヌケレドモ、之ニ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 如何デゴザイ
マスカ、文部大臣ニ對スル公ノ席ニ於キマ
スル質問ハ一先ツ是デ打切りマシテ、又他
ノ機會ニ於テ御質疑ヲ爲サルト云フコトニ
取計ヒマシテ、宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 宜シケレバ、
次ニ内務省ノ關係ノ祕密會ニ於ケル御話ヲ

承リマセウカ、ドウデゴザイマセウ

○子爵舟橋清賢君 私ハ結構ダト思ヒマス、

曩ニ内務大臣ノ御説明ヲ聽いて居リマスカ
ラ、祕密會ニ具體的ノ事實ニ關スル御説明

ナリ御報告ナリヲ承リタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今
ヨリ祕密會ニ致シマス、從ヒマシテ、議員
國務大臣、議事ニ關係アル政府委員及び事
務ヲ執ル者ノ外退場ヲ願ヒマス

午後三時十三分祕密會ニ移ル

政府委員

内務大臣 男爵平沼駿一郎君

文部大臣 橋本清吉君

内務事務官 村田五郎君

陸軍少將 田中隆吉君

司法大臣 柳川平助君

司法次官 三宅正太郎君

司法省刑事局長 秋山要君

司法書記官 太田耐造君

文部省専門學務局長 永井浩君

教學局長官 藤野惠君

男爵井田馨楠君

田口弼一君

堀切善次郎君

次田大三郎君

長岡隆一郎君

上野喜左衛門君

山隈康君

長岡隆一郎君

山岡萬之助君

次田大三郎君

上野喜左衛門君

柳川平助君

村田五郎君

田中隆吉君

潮見茂樹君

永井浩君

秋山要君

太田耐造君

永井浩君

藤野惠君

三宅正太郎君

柳川平助君

柳川平助君